

令和6年度使用

小学校用教科用図書調査報告書

2023(令和5)年7月

伊賀採択地区協議会

三重県教科用図書選定審議会調査員（小学校調査員）の調査実施項目

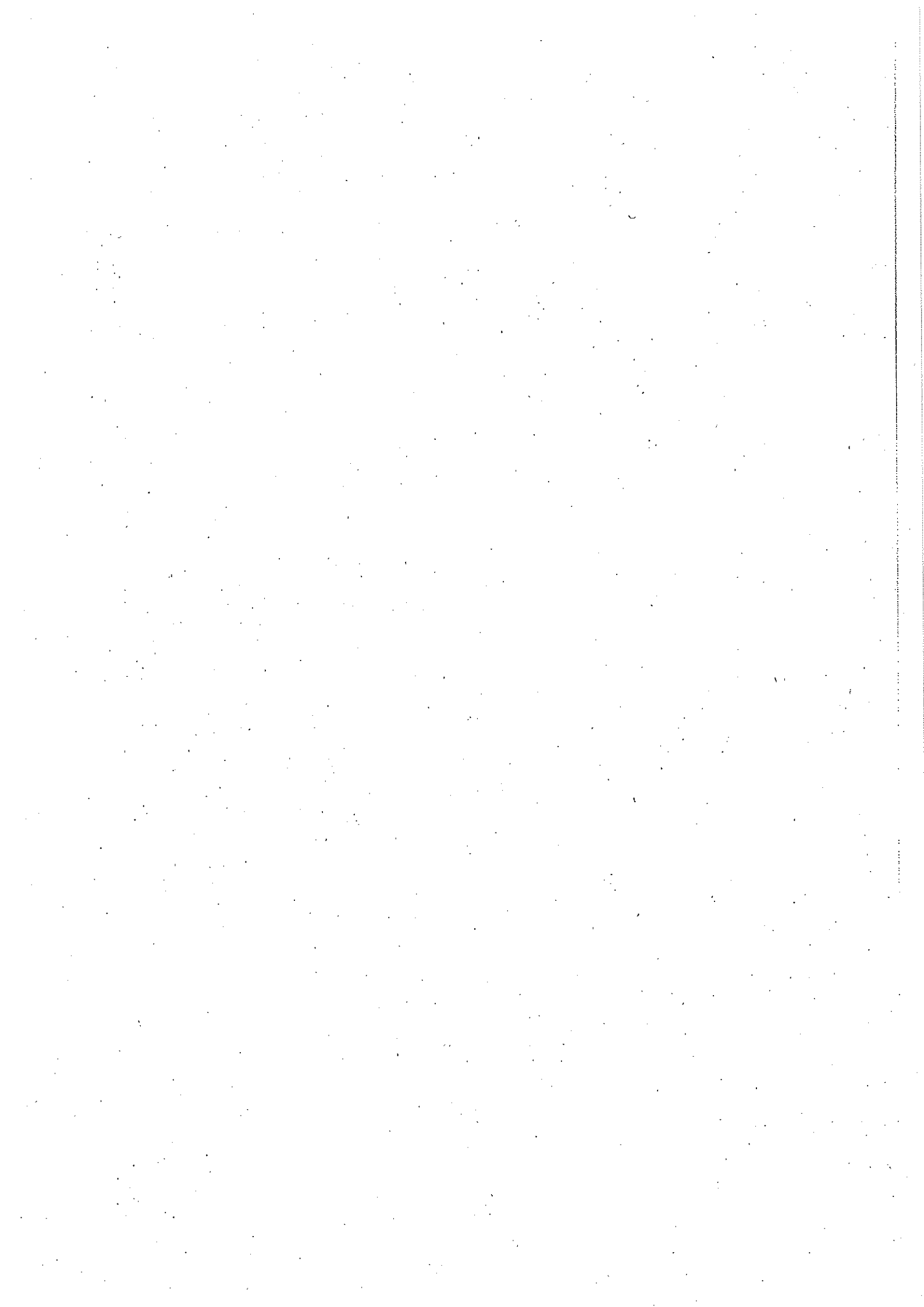
- 1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫
 - (1) 各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、問題を見いだして解決策を考える学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
 - (2) 言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫
 - (3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫
 - (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫
 - (5) 各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫
 - (6) 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫
 - (7) 他の教科等との関連を図った学習活動を充実するための工夫

- 2 使用上の便宜
 - (1) 内容別配当の分量
 - (2) 教材・資料等の分量
 - (3) 内容の配列及び造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童等への配慮、編集上の工夫等

- 3 その他
今日的課題への配慮や各種目において調査を必要とする事項等

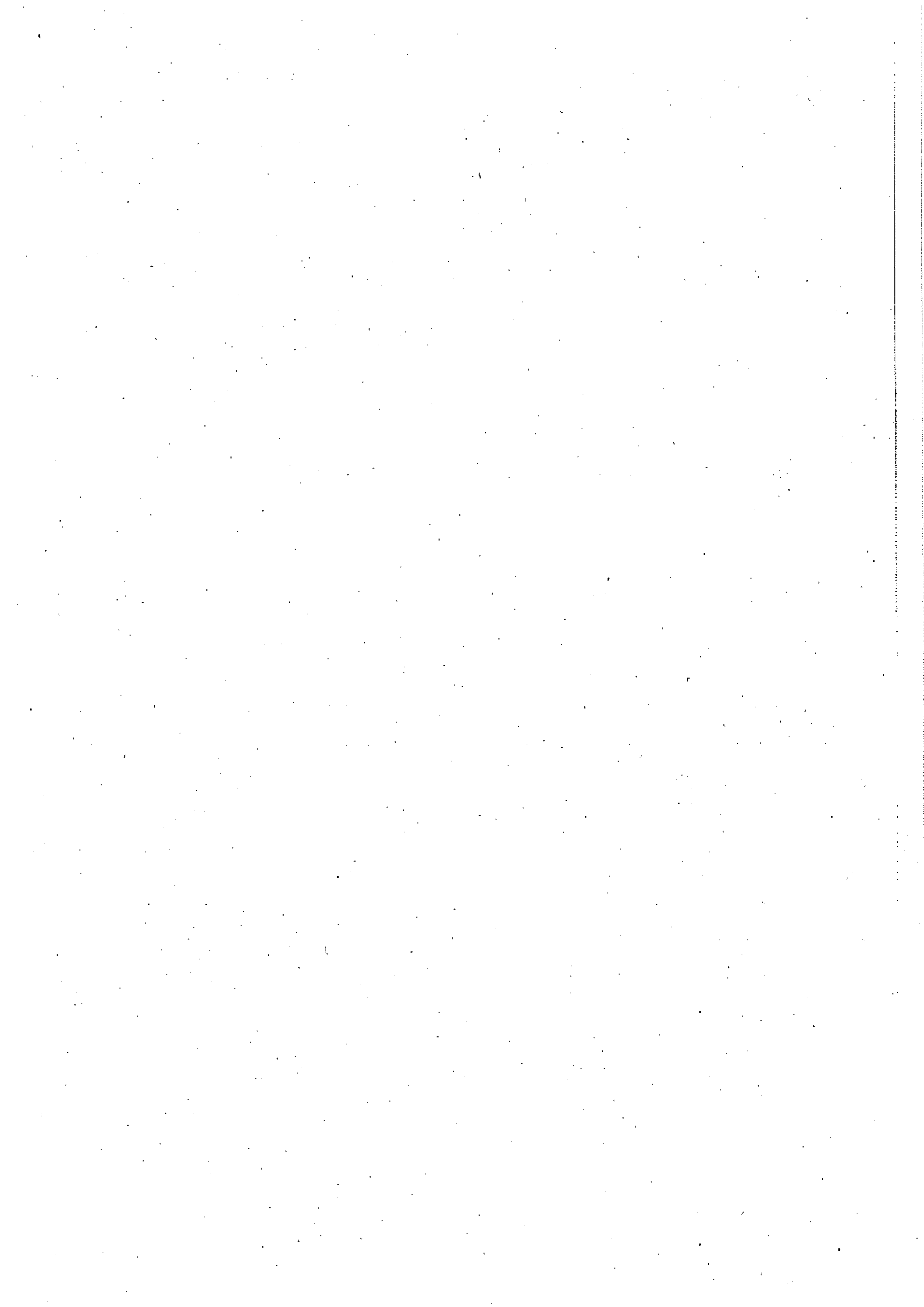
令和6年度使用小学校用教科書の発行者別一覧

発行者番号	発行者名	略称	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	保健	英語	道徳	種目合計
2	東京書籍	東書	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	11
4	大日本図書	大日本					○	○	○				○			4
9	開隆堂出版	開隆堂									○	○		○		3
11	学校図書	学図					○	○	○							3
15	三省堂	三省堂												○		1
17	教育出版	教出	○	○	○		○	○	○	○				○	○	9
26	※信州教育出版社	信教						○	○							2
27	教育芸術社	教芸								○						1
38	光村図書出版	光村	○	○					○					○	○	5
46	帝国書院	帝国				○										1
50	大修館書店	大修館											○			1
61	新興出版社館 啓林館	啓林館					○	○	○					○		4
116	日本文教出版	日文			○		○				○				○	4
207	文教社	文教社											○			1
208	光文書院	光文											○		○	2
224	学研教育 みらい	学研											○		○	2
各種目の発行者数			3	3	3	2	6	6	7	2	2	2	6	6	6	54



もくじ

〈1〉	国語	・・・・・・・・・・	1 ~ 4
〈2〉	書写	・・・・・・・・・・	5 ~ 8
〈3〉	社会	・・・・・・・・・・	9 ~ 12
〈4〉	地図	・・・・・・・・・・	13 ~ 16
〈5〉	算数	・・・・・・・・・・	17 ~ 24
〈6〉	理科	・・・・・・・・・・	25 ~ 30
〈7〉	生活	・・・・・・・・・・	31 ~ 38
〈8〉	音楽	・・・・・・・・・・	39 ~ 42
〈9〉	図画工作	・・・・・・・・・・	43 ~ 46
〈10〉	家庭	・・・・・・・・・・	47 ~ 50
〈11〉	保健	・・・・・・・・・・	51 ~ 58
〈12〉	英語	・・・・・・・・・・	59 ~ 72
〈13〉	道徳	・・・・・・・・・・	73 ~ 80



国語

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	国語
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新編 新しい国語
1 取扱内容	○国語科の学習を通じて、知識や教養、情操と道徳心を養えるよう、多様な分野から教材や題材を提示している。 ○情報化社会の中で情報を扱う力が重視されていくことを踏まえ、情報教育との関連に注力している。
2 内容の選択及び扱い	○カリキュラム・マネジメントに資するよう、他教科との合科的、関連的な題材を積極的に取り上げている。 ○自らの職を極めようとする人の姿を描いた題材を選択し、職業観や勤労を重んずる態度を養おうとしている。 ○読書单元「本は友達」を、図書館活用(4月)、図書紹介と著名人の読書体験(7月)、読書活動(12月)と年間3回設定し、読書に親しむ習慣や態度を育むようにしている。 ○現代を生きる等身大の小学生を描いた物語を取り上げている。 ○「インターネットは冒険だ」(5年)、「情報の信頼性と著作権」(6年)等、メディアリテラシーを育む教材が取り入れられている。 ○「発信しよう、私たちのSDGs」で持続可能な社会実現のために行動しようとする児童を育てることにつながっている。 △戦争や紛争の災禍について考え、平和を希求する態度を育む教材を盛り込んでいるが、6年生ではこのテーマで、「世界は必ず変えられる」、「模型のまち」、「ヒロシマのうた」の3つの題材が掲載されており、多いのではないかと考えられる。
3 内容の程度	△1年生でスイミーが取り上げられており、内容を読み取れない子が多いのではないかと考えられる。 △「おおきなななぶ」(1年上)は1行の文字が多く、「さとうとしお」(1年上)では問いの文が二つ重なっており、この時期の児童にとっては少し高度である。
4 内容の構成及び配列	○各单元が、見通す、取り組む、ふり返るの3つのステップで組織されており、児童が見通しをもって主体的な学習を進めることができるようになっている。 ○「読むこと」の学習の手引きでは、学習の全体像を一目で見渡せる見開きで構成している。 ○「情報」の扱い方に関する单元として、「情報のとびら」を2年生以上で年に3ヶ所設定し、学習事項を「関係」「整理」「調査」「論理」の4つ切り口で整理、配列している。
5 創意工夫	○低学年から高学年に向けて、「読み取る」「読み比べる」「情報を活用する」「考えを広げ、深める」ことの学習が重層的に配置されており、国語の力を伸ばせるようになっている。 ○「読むこと」の学習では、大きな写真やイラストを用いて、児童からの問いを引き出すきっかけを作っている。 ○「ふりかえり」の観点で、「取り組む」のめあてと照応するように示され、また、図解でポイントを示すことで言葉の力の定着を図ろうとしている。 ○「国語の学習の進め方」を設けて、年間を通じて何をどのように学ぶのかを見通すことで、主体的に学習に取り組む態度を育むよう工夫している。
6 使用上の便宜	○QRコードによるコンテンツ(練習問題や資料など600点程度)が充実しており、子どもたちの学び、教員の指導に資する工夫がなされている。 ○5・6年生では上下巻を廃し年間通して1冊となっており、中学1年を見据えた小中一貫に配慮した工夫がなされている。
7 その他	○1年生上巻では、小書きの文字をこれまでよりさらに小さくして読み誤りがないよう工夫されている。 △「おおきなななぶ」の出典が内田莉沙子訳で、引く順の記述が西郷竹彦訳とは違っている。
総合的な評価	○学習指導要領に示された資質、能力を伸ばす題材、工夫が多く、子どもが主体的に学べるようにも工夫されており、上述の問題点はあるが、小学校国語の教科書として【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	国語
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) ひろがる言葉・小学国語
1 取扱内容	<p>○児童が互いの立場を尊重しながら課題の解決に向けて意見や感想、助言を述べ合う学び合いの場を設け、伝え合う力の育成に重点を置いている。</p> <p>○学習指導要領を踏まえ、「言葉による見方、考え方を働かせ、正確に理解し適切に表現する資質、能力を育成する」ことができる教材をたくさん取り上げている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○カリキュラム・マネジメントへの対応として、社会科、理科との関連性のある教材を配置している。</p> <p>○自己表現を主眼とする「書くこと」に関する教材を全学年に配置している。</p> <p>○社会の中の人間を見据え、社会性を育てるための教材に力点を置いて選択している。</p> <p>○郷土や地域を大切にす気持ちや誇りがもてるよう、地域の人たちに取材する教材を学年の系統性を考慮して設定している。</p> <p>○世界遺産を取り上げており大変興味深い内容の選択である。(「世界遺産白神山地からの提言―意見文を書こう」(5年))</p> <p>○長音、濁音・半濁音、拗音の教材で、児童が親しみやすい語呂のいいものを選んでおり、音読もしやすい。</p> <p>○本に親しむ態度を育む教材、「ひろがる読書の世界」が充実している。</p>
3 内容の程度	<p>△1年生2学期に「スイミー」が、1年生3学期に「お手紙」が取り上げられており、内容を読み取れない子が多いのではないかと考えられる。</p> <p>△1年生2学期の「うみへのながいたび」は7段落もあり、1年生2学期の教材としては長いのではないかと。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○各学年で、指導内容を反復できるような単元構成が意図されている。</p> <p>○1年生の入門期は、スタートカリキュラムの考え方を取り入れ、特に生活科との連携を意識した構成になっている。</p> <p>○郷土や地域を大切にす気持ちや誇りがもてるよう、地域の人たちに取材する教材を学年の系統性を考慮して設定している。</p> <p>○どんな学びでどんな力をつけていくのか、学年のはじめに1年間の見通しをもてるようにしている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」が系統立てて配列されている。また、目次の後に学び方が記載され、1年間の学びが「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に分類され見通しをもって学習を進めることができるように構成されている。</p>
5 創意工夫	<p>○各単元には学習ステップが設定されており、子どもが今、何を学習しているのかが分かりやすい工夫がなされている。</p> <p>○1年生の入門期における最初の教材は、子どもたちの緊張した心をほぐすため、ファンタジックな展開の優しい絵話を設定している。</p> <p>○我が国の伝統文化に関する事項では、「落語」を取り上げ、誰がどんなことを話したのかがわかるように表記するなど工夫されている。</p> <p>○本の紹介が大変多く、子どもたちの読書活動をより意欲的にさせる工夫である。</p>
6 使用上の便宜	<p>○教科書のQRコードからインターネット上のコンテンツにアクセスすることができるようになっている。</p> <p>△巻末付録には語彙の拡充や話型・文型のまとめなど学習を支える資料などが多く収められている。一方、活用の幅が広がりすぎて、指導しきれない面も考えられる。</p> <p>△巻頭にある「〇年生で学ぶこと」にあるSDGsの領域の文字が極めて小さい。</p>
7 その他	<p>△「おおきなかぶ」の出典が内田莉沙子訳で、引く順の記述が西郷竹彦訳とは違っている。</p> <p>△1～4年で3年以下以外は他社より重たい。</p>
総合的な評価	<p>○子どもが主体的に学べるような様々な工夫や資料の充実が図られており、上述の難はあるが、小学校国語の教科書として【適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	国語
発行者名(番号)・教科書名	光村図書(38) 小学校 国語
1 取扱内容	<p>○思考力・判断力・情報活用能力を育成して社会の変化に対応できるように工夫されている。</p> <p>○情報と情報の関係の捉え方、情報整理のしかたについて学べる工夫がなされており、情報活用能力の基礎となる知識及び技能を育成できるように工夫されている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○教科横断的な学習が充実する、カリキュラム・マネジメントを意識した教材選定及び単元配列がなされている。</p> <p>○時代を超えて読み継がれている文学作品や新しい児童文学を掲載し、豊かな感性を育てることができる。</p> <p>○「読む<説明文>」の学習では、練習教材を用いた二教材構成で段階的に学び、さらに「書くこと」につなげるなど、情報を得て活用する力を育てることができる。</p> <p>○2年生以上に年間4カ所の「季節の言葉」を設け、伝統的な季節感を育む言葉に触れる機会をもてるようにしている。</p> <p>○SDGsに関連する17のテーマを取り上げており、持続可能な社会実現のために行動しようとする児童を育てることにつながっている。</p> <p>○5年「想像力のスイッチを入れよう」、6年「インターネットでニュースを読もう」でメディアリテラシーを育めるようにしている。</p> <p>○巻末の「言葉の宝箱」には、2年生から「気持ちを表す言葉」が入っていて、表現に生かしていくことができる。</p> <p>○他者への思いやりなど道徳的心情が育つ教材が選定されている。</p>
3 内容の程度	<p>○各学年児童の平均的な理解力に応じた教材が選定されており、また、理解力の高い児童にはさらに読み深めることに耐えうる教材が多い。</p> <p>○「書くこと」の単元で学習内容を生かすことで内容の定着を図ることができるよう工夫されている。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○習得した知識及び技能を活用して思考・判断・表現に取り組むという教材配列がなされている。</p> <p>○2～6年では、読むことと書くことを関連付けた単元が設定されており、力を効果的に伸ばすことができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」について、各学年1学期に「耳を傾ける」、2学期に「話し合う」、3学期に「声を届ける」ことを配列し、系統的に対話する力を育むようにしている。</p> <p>○巻頭の「国語の学びを見わたそう」で、前学年とのつながりや学習の進め方が分かるようになっており、意欲をもって学べる工夫となっている。</p>
5 創意工夫	<p>○2年生以上の巻末に「図を使って考えよう」を設定し、情報活用能力を育むようにしている。</p> <p>○都道府県の漢字は、社会科の学習と関連付け、楽しく学べるように工夫されている。(4年上)</p> <p>○6年で「中学校へつなげよう」を設定し、小学校で習得した言葉の力を確認し、中学校での学習に安心感をもって臨めるよう工夫している。</p> <p>○目標や振り返りを書く欄、大事だと感じたことを書く欄を設け、主体的な学習ができるよう工夫している。</p>
6 使用上の便宜	<p>○5・6年生では上下巻を廃し年間通して1冊となっており、中学1年を見据えた小中一貫に配慮した工夫がなされている。</p> <p>QRコードを配置し(200ヶ所以上)、学びを充実させるのに役立っている。</p>
7 その他	<p>○単語や文節が行をまたがないように工夫されており、読みやすい配慮がなされている。</p> <p>○「おおきなかぶ」は西郷竹彦訳で、1年生に学ばせたい人権感覚に根差している。</p>
総合的な評価	<p>○学習指導要領に示された方向性にしっかり対応しており、これまで使用してきた教科書との教材の同一性もあり、小学校国語の教科書として【最も適している】。</p>

書写

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	書写
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2東書・書写) 新しい書写
1 取扱内容	○「学習指導要領」に基づき書写学習を通して、幅広い知識と教養を身につけ、主体的に自らの字を正しく整ったものにしていく態度を養うのに適した内容である。 ○児童の学ぶ意欲を高められるよう、さまざまな観点から文字文化や伝統に触れるようになっている。「文字といっしょに」
2 内容の選択及び扱い	○「生活に広げよう」「学びを生かそう」において絵日記や生活作文、ポスター・リーフレット作り、寄せ書き、実験記録等、国語と連動させた言語活動が取り上げられ、生活に活用できる書写力を育成しようとしている。
3 内容の程度	○書写学習の基礎的・基本的な事項が習得できるよう学年の発達段階に応じて内容が系統的に扱われている。 ○運筆能力の向上のために水書用紙が添付され、硬筆での書字動作につなげられるようにしている。(1, 2年生)
4 内容の構成及び配列	○一単元に1つの「書写のかぎ」を配置してねらいを明確化、焦点化するとともに、①見つけよう②確かめよう③生かそう④振り返ろうの4段階で見通しをもって学習できるよう構成され、主体的に学ぶ意欲を引き出す工夫をしている。 ○毛筆では各単元とも、右ページには「見つけよう」「生かそう」「振り返ろう」、左のページには「確かめよう」を載せているので流れがわかりやすい。 ○習字の手本となる字を左のページもしくは見開きに掲載している。 ○どの学年でも、年度の学習の始めに毛筆の準備や片付けを確かめられるようになっている。また、点画の名前を確かめ、書写の用語を学習に使えるようにしている。
5 創意工夫	○「振り返ろう」コーナーには、「考えた」「分かった」「書けた」それぞれに丸印を書き、自己評価できるようになっている。 ○硬筆では、単元のポイントになる部分の色を変えて示しているので、ポイントを意識して学習することができる。 ○巻頭に1年間の学びを見通すイラストマップを設けて学習の見通しを示している。
6 使用上の便宜	○毛筆では、それぞれの字と合わせて筆の穂先が通るところを朱色で示した字を掲載しているため、運筆がイメージしやすい。 ○各ページの構成や情報量が適切で、学習しやすい。 ○それぞれのページに使われている色はやや薄めの濃さになっており、児童の目に優しく見やすい。色覚の特性に配慮した色使いになっている。 ○右手、左手、両方の持ち方を掲載しており、左利きの児童への配慮がされている。また、児童が手を重ねて確認できるよう大きな写真で示している。
7 その他	○デジタルコンテンツで、それぞれの学習の考えるべきところを動画で見ることができる。また、書くときの様子やポイントを確かめることができる。字幕をつけることができ、音声なしでも視聴でき、自分のペースで学べる。
総合的な評価	「学習指導要領」に基づき教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【最も適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	書写
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17教出 書写) 小学書写
1 取扱内容	○「学習指導要領」に基づき書写の学習を通して、基礎的・基本的な事項をおさえ、文字を正しく書くためのポイントを知り、「知識・技能」を習得すること、書写で学習したことを他教科や日常生活に生かす態度を身に付けること、文字の歴史や文化に関心を持つことに適した内容になっている。
2 内容の選択及び扱い	○「レッツ・トライ」では、国語科や社会科と関連させた内容を取り上げ、書写で学んだことを日常生活や他の教科の学習にいかすことができるようになっている。「書いて伝え合おう」「知っておこう」では、日記、ノート、観察カード、新聞、手紙、ポスター、リーフレットの書き方など、書写の学習を他の場面でも活用できるようになっている。 ○「めあて」「ふりかえろう」では、内容が明確化、焦点化されている。
3 内容の程度	○書写学習の基礎的・基本的な事項が習得できるよう発達段階に応じて内容が系統的に扱われている。 ○運筆能力の向上のために水書用紙が添付されている。(1, 2年生)
4 内容の構成及び配列	○どの単元も最初に手本、次にめあて、その次に硬筆となり、見通しを持って学習をすすめられるようになっている。①つかむ・考える ②確かめる ③振り返る ④生かす・広げる ○文字を書く姿勢や筆順、点画の書き方や長短、文字の組み立てや、毛筆の筆づかいなど、学習内容が適切に配置されている。 ○どの学年でも、姿勢や用具の使い方について年度初めに確かめられるようになっている。 △毛筆の筆使いのページが手本の次のページになっていて、見にくい。
5 創意工夫	○各単元に1つ「めあて」、「ここが大切」を載せることで、学習内容のポイントを明確にしている。 ○「振り返ろう」コーナーは、「よくできた◎」、「できた○」、「もう少し△」を書き込めるようにしてあり、児童の自己評価が3段階でできるようになっている。
6 使用上の便宜	○かたかな、漢字には筆順を示し、児童が見て正しい筆順で書けるようにしている。 ○右手、左手、両方の持ち方を掲載しており、左利きの児童への配慮がされている。 △各ページに色を使った部分を設けるとともに写真やイラストをたくさん使用して親しみやすくしているが、1ページ当たりの情報量が多く、かえって混乱をまねきかねない。 △ページに使われている色がところどころ濃い色があり、きつく感じる。
7 その他	○デジタルコンテンツをふんだんに使用して、児童が見て学習できるようになっている。動画で筆の動かし方を確かめることができる。
総合的な評価	「学習指導要領」に基づき教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【 適している 】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	書写
発行者名(番号)・教科書名	光村図書(38光村 書写) 小学校書写
1 取扱内容	○「学習指導要領」に基づき、文字を正しく整えて書くポイントについて考え、実際に書いて習得する学習内容になっている。 ○書写の学習を通して培った「正しく整えて文字を書く力」を日常生活で生かす態度を養うこと、文字を書くことに関わる知識や歴史に関心をもつことに適した内容になっている。
2. 内容の選択及び扱い	○「書写広げたい」では、インタビューメモ、手紙、リーフレット、マップ等書写で学習した内容を他の学習や日常生活の場面で活用できるようになっている。他の学習にも活用できることが写真や図、絵を使った説明でよく分かる。 ○硬筆教材に国語科の文学教材の一部が取り入れられている。(2年:「スイミー」 4年:短歌 6年:「やまなし」)
3 内容の程度	○基礎的・基本的な内容を児童の発達段階に応じて系統的、段階的に習得できるように構成されている。 ○運筆能力の向上のために水書用紙が添付されている。(1, 2年生) △3年生の書写の最後に学習する「水玉」は、3年生で身につけたすべての内容が入っているが、2文字なのでやや難しい。
4 内容の構成及び配列	○どの単元も、①考えよう②確かめよう③生かそうという3段階の学習の進め方が提示されている。また、「たいせつ」を設定し、学習で大事なことを焦点化している。 ○どの学年にも「□年生のまとめ」を設定し、それぞれの単元の「たいせつ」で示したポイントを振り返るようになっている。 ○「はってん」で次の学年で学習することをあげている。 ○どの学年でも、年度の学習の始めに点画の名前を確かめ、書写の用語を学習に使えるようになっている。
5 創意工夫	○学年の特性に応じ、「毛筆スタートブック」「SDGzブック」「書写ブック」を中綴じの形にして設けている。 ○硬筆では、単元のポイントになる部分の色を変えて示しているので、ポイントを意識して学習することができる。 △振り返りの自己評価がチェックのみとなっており、不十分である。
6 使用上の便宜	○毛筆が見開きいっぱい大きく描かれている。毛筆の字と反対のページに、筆の穂先の通り道を写真、図、イラストの3つを用いて掲載している。 ○各ページの色はすっきりしていて見やすい。 △各単元の題字がゴシックで表記されており、はらいやはねがはっきりしない。 △筆順の表示が小さくてわかりにくい。 △1ページの情報量がやや多く、読むことが苦手な児童には負担が生じる。
7 その他	○デジタルコンテンツを使用して、児童が見て学習できるようになっている。右利き、左利きの児童への配慮もされている。 △ネコのイラストが随所に使われているが、学習として必要な載せ方が疑問を感じる部分がある。
総合的な評価	「学習指導要領」に基づき教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【 やや適している 】。

社会

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	社会
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍.(2) 新編 新しい社会
1 取扱内容	学習指導要領の教科目標にある「公民としての資質・能力」を育てることに重きをおき、問題解決的な学習を「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら進めていく内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	○第3学年、第4学年では、古くから残る建造物や地域の伝統的な文化などを調べる学習を設け、地域に対する誇りと愛情をもつ内容となっている。 ○学習指導要領に選択的に例示されている事例について、「ひろげる」ページで扱うことで、児童が自分で学習を広げ、深めることができる内容となっている。 △第3学年で取り扱っている市は、福岡市、浜松市、宇都宮市、明石市と多いが、「わたしのまち」では、福岡市の市街地のみが取りあげられており、児童が身近に感じる事が難しい。また、取り扱っている地名が10と少なく、索引の地図には県名しか記載されていない。
3 内容の程度	○「単元のめあて」「小単元の学習問題」「本時のめあて」がわかりやすく明示されており、問題解決的な学習を効果的に進めることができる。 ○教育のICT、防災・安全、道徳教育、伝統や文化、グローバル教育など、今日的な課題に関わる内容を随所に取り上げている。 △第5学年での沖縄県の学習では、「軍用地が広い面積をしめている」という表記だけで、社会問題になっていることについては触れていない。
4 内容の構成及び配列	○問題解決的な学習の流れ(「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」)を「学習の進め方」などで分かりやすく明示しているため、児童が学習の状況を把握しつつ問題解決学習により、学習を深められるように工夫している。 ○学習のポイントとなる活動や問いかけを「まなびのポイント」として提示してあるため、見通しをもって学習を進めることができる。 △第5学年「日本の位置とはんい」では、4つの島(択捉島・南鳥島・与那国島・沖ノ鳥島)の写真と日本地図の扱いについて、日本地図と4つの島の写真が離れているため、位置関係と方角が分かりにくい。
5 創意工夫	○ドラえもんを目印に「時間」「空間」「相互理解」「考え方」の4つの「見方・考え方」の視点を明確にしており、児童がより深く学ぶプロセスを明らかにしている。 ○「ひろげる」というコーナーを設け、単元学習後に児童が自主的に学習を深められるようにしている。 △第3学年「学校のまわり」では、学校の西側の写真しか掲載されていない。
6 使用上の便宜	○全小単元のQRコンテンツに、「学習計画ワークシート」と「まとめるワークシート」があり、学習の見通しを立て、最後にまとめる活動に活用することができる。 ○資料がカラーバリアフリーに配慮された配色になっている。色覚特性の個人を問わず、より多くの人に見やすい配色がされており、図表などは色調の違いだけでなく、模様や形なども判別できるよう工夫されている。 ○第5学年については上と下、第6学年では、歴史編と政治・国際編に分冊されていることで、児童への身体的な負担に配慮している。 △目次に選択単元とは書かれているが、文字の色が水色で分かりにくい。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	社会
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) 小学社会
1 取扱内容	学習指導要領の目標・内容・内容の取扱いに準じ、適切に単元を構成している。特に、社会の変化や課題に自ら対応していく資質や能力を育むための問題解決的な学習を中心とした内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	○適切に事例や事象が選択されるとともに、主教材の他に選択教材が設けられ、各地域や学校の実態に対応することができる。 ○人権問題はかなり深く追究した内容を取り上げている。特に、障がい者の人権問題については、深く扱われている。 △第3学年で取り扱っている市が横浜市のみで、学習内容に偏りがある。また、索引の地図にも市名の記載がない。
3 内容の程度	○第3学年「家庭での買い物体験」第4学年「学校のごみ調べ」第5学年「台所にある工業製品」第6学年「日本と外国とのつながり」など、体験的な活動や、生活体験とつなげることを重視した内容となっている。 ○第4学年「自然災害にそなえるまちづくり」では、公助・共助・自助について考えることを通して、防災に向けた意識を高めることができる内容となっている。 ○第5学年の沖縄県の学習では、アメリカ軍の広い軍用地があることを問題提起し、社会問題になっていることまで取り上げている。
4 内容の構成及び配列	○各単元が「つかむ」「調べる」「まとめる」3つに構成されており、児童が主体的に学べるよう工夫されている。また、「つなげる」では、学習したことを実際の生活にどのように生かすかを意識した内容となっている。 ○グラフや地図、写真やイラストには、読み取りのための着目ポイントを示すなど、資料活用を支援する配慮がなされている。 △第5学年「日本の位置とほんい」では、4つの島(択捉島・南鳥島・与那国島・沖ノ島)の写真と日本地図の扱いについて、立体的に世界地図の中での位置関係を示そうとしているのはよいが、方角と4つの島の位置関係が分かりにくい。
5 創意工夫	○「もっと知りたい」コーナーがあることで、単元学習後に児童が自主的に学習を深めるヒントになる。 ○右ページ下段に「次につなげよう」のコーナーがあることで、次時の見通しをもち、単元を通して一貫した追究ができるよう工夫されている。 ○第3学年「わたしたちのまちと市」では、学校の屋上からの景色が、真ん中を中心に東西南北がわかるように写真を配置しているのでわかりやすい。 △「まとめる」ページでは、キャラクターに吹き出して語らせることで、「見方・考え方」を働かせて学ぶヒントにはなるが、主体的に考える力をつけるには不十分である。
6 使用上の便宜	○第6学年の歴史学習では、白黒写真を人工的に着色して掲載しているので、当時の出来事をより身近に感じることができ、人々の思いをより深く理解しながら学習することができる。 △目次に選択単元とは書かれているが、どの単元とどの単元を比較して選択するのが分かりにくい。 △第4学年「ごみのゆくえ」「よごれた水がきれいになるまで」の図解が分かりにくい。
7 その他	○第3学年「はたらく人」の単元では、「地区センターで働く人」の写真が掲載されているので、地区市民センターや市民館の学習につなげることができる。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	社会
発行者名(番号)・教科書名	日本文教出版(116) 小学社会
1 取扱内容	学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容、内容の取扱いなどをふまえて、児童の発達段階と興味・関心を意識し、社会的事象を適切に教材化されている。
2 内容の選択及び扱い	<p>○教科書本文が、「学習内容(知)」「学習活動(技)」「友だちの発言(思・判・表)」の3つに分けられ、学習指導要領が示す資質・能力の育成に沿っている。</p> <p>○随所にSDGsの内容を扱っており、現代的な諸課題を自分事として捉え、取り組む力を育む内容となっている。</p> <p>○第3学年で取り扱っている市が姫路市、栗東市、川越市、府中市と多くの市を扱っている。また、索引の地図にも市名があり、津市が取り上げられている。</p> <p>○第4学年「地震による災害」では、阪神淡路大震災の取組が取り上げられており、身近に起こる災害として、児童に関連の深い内容となっている。また、防災アプリ等、最新の事例を取り扱っている。</p> <p>○第5学年「工業生産とわたしたちの暮らし」では、自動車工業の盛んな地域として、中京工業地帯が取り上げられ、三重県の鈴鹿市を中心に記載されている。</p> <p>○第6学年では、感染症、投票率、災害復興等、現代社会に関わりの深い社会的現象を取り上げ、社会的参画に向けて理解を深め意識を高める内容となっている。</p>
3 内容の程度	<p>○単元の随所に「見方・考え方」「キーワード」「むずかしい言葉」「コラム」「やってみようコーナー」が設定されており、社会的事象の特色や相互関連、意味を多角的に考えたり、課題解決の方法を選択・判断したりする力を養う内容となっている。</p> <p>○第4学年「もえるごみのゆくえ」「水がきれいになるまで」の図解は、絵や文字の大きさ、説明の仕方、図の配置等とてもわかりやすい。</p> <p>○第5学年での沖縄県に日本のアメリカ軍基地の70パーセントがあることを問題提起し、問題を考えるための細かな数値まで出している。</p> <p>○第6学年の歴史単元では、児童の興味・関心を重視し、学習する人物や文化遺産、歴史事象を精選し、歴史的なものの見方・考え方を身につけるよう配慮されている。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○見開きの中心に本文、両脇に「学び方・調べ方」コーナーを配置することで、資料と関連させて読み取ることができる。</p> <p>○「見方・考え方コーナー」「学び方・調べ方コーナー」「キーワード」などが設定され、観察・見学、表現活動、問題解決学習などの質を高める手立てとなっている。</p> <p>○第5学年「日本の位置とはんい」では、4つの島(択捉島・南鳥島・与那国島・沖ノ鳥島)の写真と日本地図の扱いについて、日本地図が見開きの中央にあり、その周りに4つの島の写真が掲載されているため、方角と位置関係がよくわかる。</p>
5 創意工夫	<p>○話し合い活動の様子を漫画にすることで、「見方・考え方」に着目し、自分たちの考えを深め合う方法がわかりやすく、実際の活動につなげやすい。</p> <p>○児童のノート为例示し、ノートの書き方はもちろん、学習問題に対してどのように思考してまとめているのか、児童の思考をサポートする工夫がなされている。</p>
6 使用上の便宜	<p>○巻末にSDGsの目標シールがあり、学習のふり返りに活用できるようにしている。</p> <p>○QRコンテンツに、「学習の計画やまとめ」のワークシートや「ノートの書き方」の例があることで、学習展開に応じて児童が主体的に学習することができる。</p> <p>○目次が見やすく分かりやすい。選択単元について、どの単元とどの単元を比較するのが分かりやすく、内容についても詳しく書かれている。</p>
7 その他	○歴史学者の磯田道史先生のコーナーを設け、児童が意欲を高めて歴史学習に取り組めるようにしている。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【最も適している】。

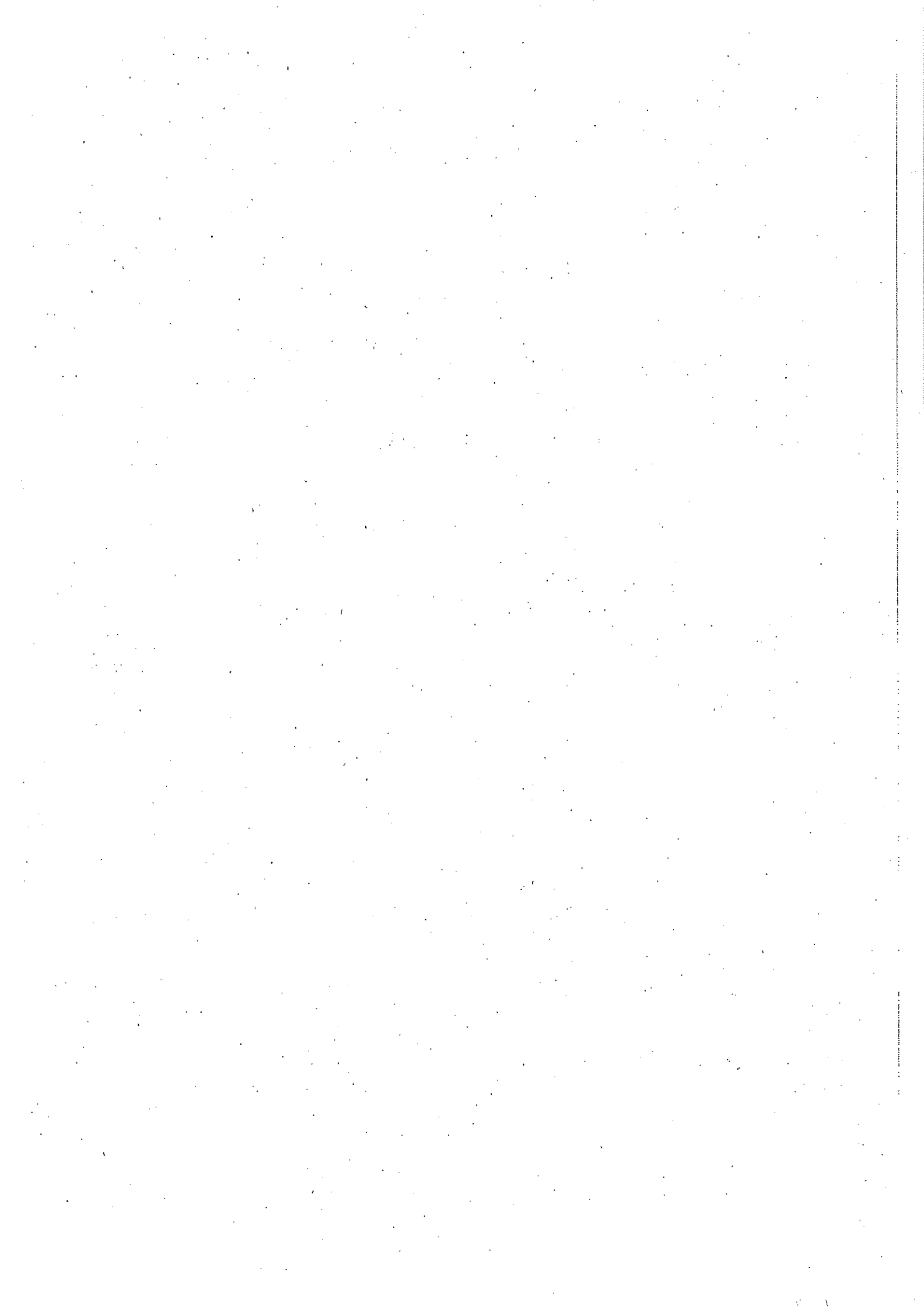
地图

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	地図
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新編 新しい地図帳
1 取扱内容	広い視野から国土を眺めることができる地図や地球儀を効果的に活用し、日本の位置および範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて正確な理解が図れる内容になっている。
2 内容の選択及び扱い	○日本と歴史上のつながりのある国々が、地図で示されているので分かりやすい。 ○地図を複数配置し日本に位置や範囲、領土に関して正確な理解が図れるようになっている。また、我が国の歴史や伝統・文化に関する内容が充実している。 ○気候に関する資料地図を冬と夏、それぞれの気温と降水量に分け、見比べやすい内容になっている。また、近年増加している気象災害とも関連付け、防災学習にも活用できる内容になっている。 △冒頭のイラスト入りの「地図のぼうげんに出発」では、地図が見にくく、英語での表記も少ない。
3 内容の程度	○地図及び索引で、全市町村名を網羅している。 ○日本の世界遺産が写真付きで掲載されていたり、日本と世界の島や湖、建物などを比較し提示されていたりするなど、資料が豊富である。 ○QR コンテンツにドローン動画があることで、紙面からだけではとらえにくい地形の広がりや土地利用の様子について理解しやすい。 ○「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」を随所に設定し、70の問題と作業に取り組むことで、地図を活用する知識・技能や地図から発展させて考える力の向上を図る内容となっている。 △3年生からの使用をふまえ、児童の興味を引くように「地図のきまり」や「地図帳の使い方」をまんが仕立てにしてあるが、説明が十分でない部分がある。「なぜ地図が必要なのか」についての説明が少ないように感じる。 △地図記号の説明文が十分ではない部分がある。(◎市役所…元になった形はない)
4 内容の構成及び配列	○他教科でも活用できるよう、日本の地形や気候・自然災害の資料、世界の料理や日本の郷土料理の資料、オリンピック開催地の地図などが掲載されている。 ○巻末のプレート・火山・海溝・トラフを入れた自然災害マップが詳しく見やすい。
5 創意工夫	○索引記号・番号に、矢印がついているため、索引を使って場所を調べる際、不慣れな児童も使いやすい工夫がされている。 ○「ユーラシア、北極」では、北極とその周りの様子がわかりやすく描かれている。 ○QR コンテンツ内の「がんばりシート」で、70の問題の進み具合がわかるので、児童が意欲的に学習を進めるきっかけになる。
6 使用上の便宜	○地図中の文字や記号は大きく、文字も丸ゴシック系の親しみやすいものになっている。3年生配当以上の漢字にふり仮名がついている。 △「地図のきまり、地図帳の使い方」と初めに構成されているが、ページ数が少なく、1ページにたくさん情報が集められているので見にくい。 △「広くみわたす地図」のページがないため、3・4年生には使いにくい。 △印刷は全体的に鮮明であるが、世界地図と日本地図の色が濃く、赤字の地名が読みにくい所がある。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	地図
発行者名(番号)・教科書名	帝国書院(46) 楽しく学ぶ小学生の地図帳
1 取扱内容	正しい国土理解を通じて、国土や郷土への愛情を育むとともに、資料活用能力を高め、主体的な学びの力を伸ばす内容となっている。また、持続可能な社会の実現を目指す視点や主体的に防災意識を高められる視点が盛り込まれている。
2 内容の選択及び扱い	<p>○3年生からの使用をふまえ、3年生向けのページが30ページと充実している。「地図って何だろう」では、同じ範囲の写真を地図に表すようすをわかりやすく説明しており、地図の有用性に気づくことができる。</p> <p>○冒頭のイラスト入りの「地図で世界発見」では、地図が見やすく、英語での表記も多く見やすい。また、3年生からの英語での使用を呼びかける発信もある。</p> <p>○第3学年「地図の使い方」「広く見わたす地図」から第5学年「日本の領土ときまり」「くわしい地図」と、段階を追って学習できる内容になっている。</p> <p>○SDGsに特化したページが設けられていて、持続可能な社会の実現に向けた各地の課題や取組を理解することができる。</p> <p>○防災・減災に向けた具体的な取組や「防災マップづくり」を取り上げ、児童の防災意識を高める内容となっている。</p> <p>○北方領土や竹島、尖閣諸島について、日本固有の領土であることが理解できるよう、写真とともに解説を掲載している。</p>
3 内容の程度	<p>○160万分の1の「広く見わたす地図」を設けており、児童の発達段階に応じた大きなイラストがあるので使いやすい。</p> <p>○「自動車産業のさかんな愛知県」のように、各図にテーマを設けて、自動車産業の工程を示す図を掲載するなど、社会科の学習を深められるような内容になっている。</p> <p>○「日本の領土とそのまわり」については、領土・領海・排他的経済水域等の概念を模式図で表し、視覚的に理解できる内容となっている</p> <p>○地図記号の説明について、「地図記号」と「地図記号のもとになったもの」がイラスト入りで説明されていて、とても分かりやすい。説明も適切である。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○地図帳の構成が、地図の導入、おおまかな日本地図、日本の地形図、世界の地形図というように、段階を追って配列されている。</p> <p>○3年生から使用することを考えて、児童の発達段階と各学年の学習内容を考慮した構成・配列になっている。</p>
5 創意工夫	<p>○世界の各国に親しみをもてるよう、各国の自然や文化などの特徴を表したイラストを多数掲載している。また、主要な国名と首都名などに英語表記を付記しているので、外国語の授業と関連付けることができる。</p> <p>○手話で地名を表すコーナーや色覚特性への配慮など、インクルーシブ教育に配慮した工夫が随所に見られる。</p> <p>○児童が主体的に地図を活用できるように、自主学習ができる「地図マスターへの道」が設けられている。</p> <p>○QRコンテンツとして、47都道府県のデジタル地図を見ることができる。</p>
6 使用上の便宜	<p>○全編にわたってユニバーサルデザインを取り入れている。</p> <p>○全体的なレイアウトや文字表現、色彩表現が柔らかい。見開きの日本地図は、各都道府県の形や名称が読みやすく確認しやすい。</p>
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【最も適している】。



算数

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	算数
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新編 新しい算数
1 取扱内容	<p>学習指導要領で求められている、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、問題解決型の授業を想定した紙面構成、学習展開となっている。身のまわりの生活につながられるような場面設定、そして学んだことが自分の将来につながっていることを実感できるようなテーマが取り入れられ、児童が楽しみながらじっくり考え、数学的な見方・考え方を身に付けられるような工夫がなされている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○必然性のある場面設定が工夫されており、学習したことを生活にいかす力を育成することのできる学習展開となっている。 ○4年生の「面積」、6年生の「円の面積」の学習など、新たな問題との出会いが大切にされ、子どもたちが思わず考えたいくなる教材が取り入れられている。また、児童が対話を通して思考できるような展開が重視されている。 ○5年生の「小数のかけ算、わり算」の学習など、学習内容をより理解させるため、数直線の図を活用する力を伸ばすための学習活動が取り入れられている。 ○「速さ」や「割合」など、理解が困難な学習内容について、本質的な理解ができるように、丁寧な図による説明が工夫されている。 ○「文字式」など、中学校の学習内容にもつながる重要単元について、各学年での系統的な素地づくりが行われるようになっている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」領域では、具体的操作を通して、数の大きさや序列についての感覚が豊かに身に付けられるような手立てがとられている。 ○「図形」領域では、身のまわりの形や状態へ着目させること、及び具体的な操作活動を通して、図形の性質についての感覚を身に付けられるような学習内容となっている。 ○「変化と関係」領域では、変化を視覚的に分かりやすく示したり、具体物を用いた操作活動を通して量感を育くんだりできる内容となっている。 ○「データの活用」領域では、単元「データを使って生活をみなおそう」を新設し、統計的な問題解決の方法「PPDAC」を自らの生活にいかせるような工夫がなされている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ○数学的な見方・考え方を介して、既習事項と統合したり、発展的に考えたりする学習内容とするために、「同じように考えると」や「それなら」を新設し、自ら考えようとする姿勢や課題を解決する力を育むことができるような構成となっている。 ○既習の活用を促進できるよう単元の前半では「吹き出し」や「補助発問」を丁寧に設定し、後半にかけては児童がそれまでに培った資質・能力を発揮し、問題解決する機会を創出できるような新設計となっている。 ○「まとめ」では、本時に働かせた数学的な見方・考え方をふり返ったり、前の学習と本時の学習を統合し価値づけられたりできるように可視化している。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生(上)ではA4判となっており、図が見やすく工夫され、書き込みもしやすい紙面構成となっている。 ○デジタルコンテンツを充実させ、動的な演示で学習効果を向上させたり、ARを使って楽しく量感を育成したりできるようになっている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○写真が多く用いられ、実生活との関連を意識しやすくなっている。 ○イラストのコントラストがきれいで、見やすい。 △図が少し細かく、見にくいように感じる場所があった。
7 その他	
総合的な評価	<p>学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する配慮がなされているとともに、自ら考えようとする姿勢や課題を解決する力を育むことができるような構成となっており、内容全般にわたって優れており、【最も適している】と判断する。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	算数
発行者名（番号）・教科書名	大日本図書（4） たのしい算数
1 取扱内容	学習指導要領に示された内容はもれなく扱うとともに、さらに学力をのばすために活用問題や補充問題などを豊富に掲載している。また、算数科の目標として示されている資質・能力が育成できるように工夫している。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての時間に学習のめあてを示し、本時の内容を明確に意識しながら学習を進められるようにしている。 ○単元冒頭の導入では、その単元の学習に必要なこれまでの学習内容を問う準備問題コンテンツを設け、新しい単元の学習の準備ができるようにしている。また、前学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを用意し、知識・技能を繰り返しふりかえることができるようにしている。 ○「おうちで算数」や「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、日常生活や社会に関連した題材や学習したことを家庭や地域の生活の中で活用する問題を積極的に採用している。 ○全国学力・学習状況調査で課題が見られる内容については、単元内の展開を丁寧にするなどの配慮をしている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」領域では、数についての感覚を豊かにするために具体物や数直線などを活用している。 ○「図形」領域では、様々な具体的操作や構成活動を取り入れている。 ○「測定」領域では、量感を豊かにするために、実際に測定活動を豊富に取り入れている。 ○「データの活用」領域では、学年の発達段階を考慮しながら、統計的な問題解決（PPDAC）を重視した単元構成としている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の系統性、領域のバランス、学習時期（季節感）等を考慮し、学習と指導がスムーズに行われるようにしている。 △5年生の「単位量あたりの大きさ」と「速さ」の単元が離れて配列されており、1あたり量の考え方を定着させるには、連続で扱ったほうがよい。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルコンテンツを豊富に用意し、紙面とは別のアプローチで学習の理解を深めたり、技能を定着させたりできるようにしている。 ○1年は2分冊構成とし、主に①巻は入学初期の児童に対応するよう、A4版の判型を新設し、活動や書き込みをしやすくしている。 ○第2学年以降の巻頭に児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」としてまとめている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○文節単位での改行、全面的なUDフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行っている。 △2～6年は学年1冊の合本で、学習に見通しが持てるように配慮されているが、児童の身体の発達状況や日々の取り扱いを考えると疑問が残る。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上では適切であるが、使用上の便宜を考えるとやや不安な面もあり、【やや適いている】と判断する。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	算数
発行者名(番号)・教科書名	学校図書(11) みんなと学ぶ 小学校算数
1 取扱内容	一人学びが重要視されている中、あえて「みんなと学ぶ」ことをコンセプトとして、構成されている。学習指導要領に基づき、日常生活など身近なことや算数の中から問題を発見することで、主体的に学習に入っていけるように配慮されている。また、「思考力・判断力・表現力」を養うとともに、問題を発展させ、学習を深められるよう工夫されている。
2 内容の選択及び扱い	○単元の導入には、「はてなを発見」が位置づけられており、単元への興味や関心を持つように構成されている。 ○各学年にプログラミングに関するページが設けられ、発達段階に応じたプログラミング学習が行えるようになっている。 ○2年生以上の各学年上巻の冒頭と全学年の下巻の巻末に「算数で見つきたい！考え方モンスター」を設け、見方・考え方を具体的な例を示しながら解説し、意識して使えるようになっている。
3 内容の程度	○「数と計算」では、児童の発達段階を考慮し、段階を細かく分け、図や操作活動を通して、易から難へと配列してある。 ○「図形」では、身のまわりのものから抽象化したり、作品作りなどで、図形の感覚を育成したりするなど、図形を用いるよさに着目できるようになっている。 ○「測定・変化と関係」では、直接比較・間接比較・任意単位・普遍単位の流れをベースにして展開してある。 ○「データの活用」では、「基礎・基本を身につける単元」と「活用する単元」に分けて構成している。
4 内容の構成及び配列	○基礎・基本の内容を明確にして、系統的・発展的に配列されている。 ○各時間の「めあて」を表示し、意欲的学習に臨めるようにしている。
5 創意工夫	○「できるようになったこと」で基礎的・基本となる学びを確認し、「学びを活かそう」で学びを活かした活用問題に取り組めるようになっている。さらに、その後、「考え方モンスターでふりかえろう」で、その単元での見方・考え方を振り返るようになっている。 ○各課題が、SDGsのどの目標について考えていくのかわかるようにマークを示し、問題意識を持ちながら学べるようにしている。 △「比例」や「倍」などの学習において、「4マス関係表」を用いているが、数量の変化を捉えることなく、4つの数値の関係しかとらえなくなる心配がある。
6 使用上の便宜	○文を読みやすい位置で改行し、簡潔で分かりやすい表現となっている。 △A B版であることで、開きやすく、書き込みなどの作業がしやすくなる工夫はされているが、児童机に置いた時には、ノートを置くスペースをとることになってしまう。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上では適切であるが、使用上の便宜を考えると不安があり、【やや適している】と判断する。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

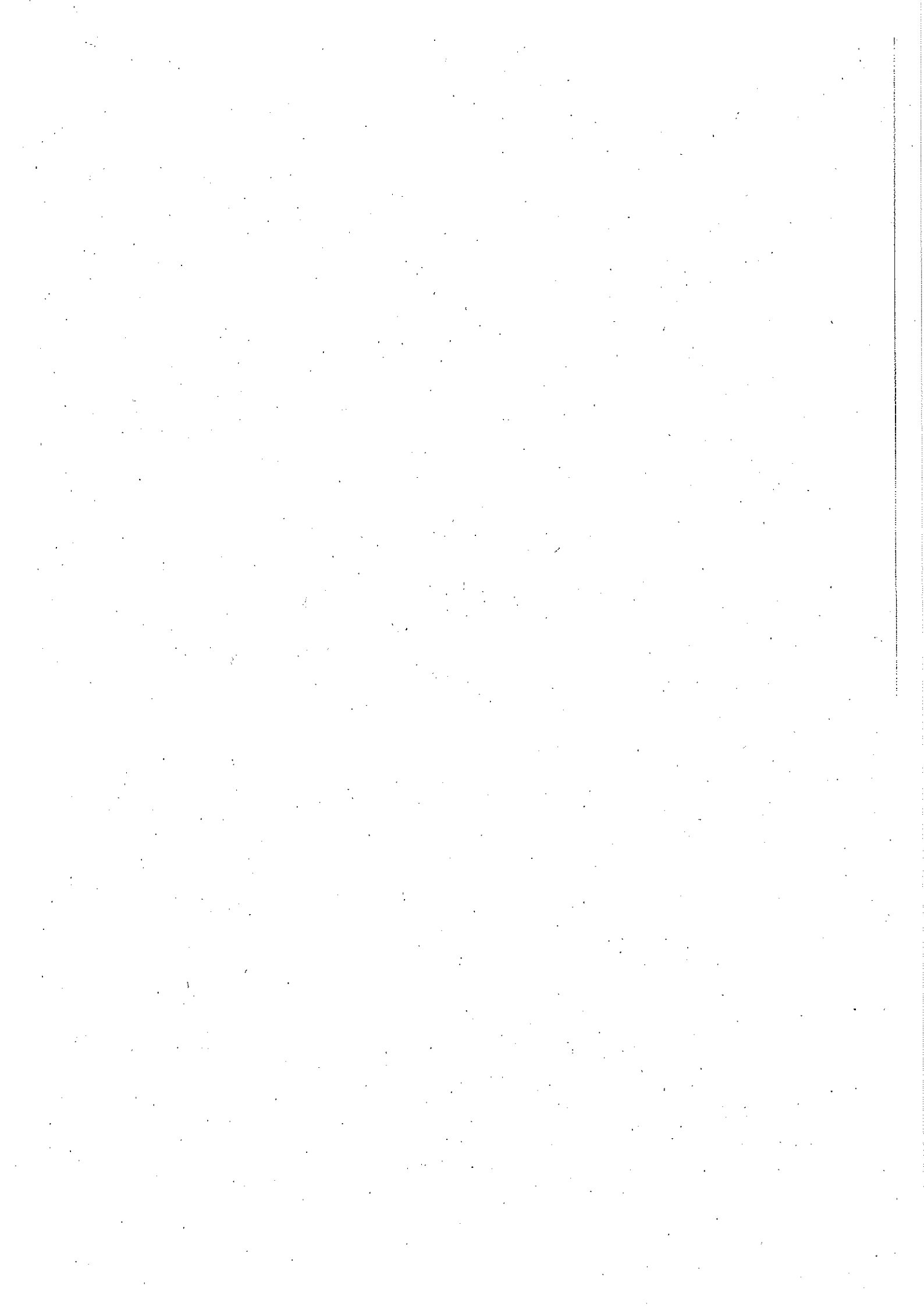
教科(科目)名	算数
発行者名(番号)・教科書名	教育出版社(17) 小学算数
1 取扱内容	学習指導要領に基づき、数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、活動の楽しさや数学的な処理のよさに気づけるように配慮されている。また、学習を振り返って、算数で学んだことを日常生活や学習に活用しようとする意欲や態度が高まるように構成されている。
2 内容の選択及び扱い	○問題発見や問題解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!?’という吹き出しを用いて構成することで、思考の流れが分かりやすく示されている。 ○「よくあるまちがい」も示されていて、気を付けるポイントもわかりやすい。
3 内容の程度	○「数と計算」領域では、式の根拠を考えたり、計算の仕方を説明したりする活動を重視し、確実な定着を図るようにしている。 ○「図形」領域では、式などの抽象的な表現方法だけではなく、具体に戻し、具体から式化(抽象)にする流れがわかりやすい。 ○「変化と関係」領域では、友だちの考えを関連付けたり比較したりして、より良い考えを見出したりする対話的な学びを重視している。 ○「データの活用」領域では、図や表などに表すことを大切にした学習過程を重視し、低学年から身の回りの事象をデータの特徴に着目して考察する力を養えるようにしている。
4 内容の構成及び配列	○各単元の導入場面では、児童が問題を発見する場面を意識した紙面構成がなされている。 ○子どもたちが働かせたい見方・考え方がシンプルに示されているため、教師にとっても授業が作りやすい。 ○「課題とまとめ」だけでなく「発展的な問題」も記載されていて、基礎的・基本的な力をもとに活用する学習展開をしやすい。 ○巻頭に「学び方」「マークの説明」「ノートの書き方」「使いたい考え方が分かりやすく例示されていて、児童の自主的、自発的な学習が促されるような工夫がある。 ○巻末にある既習内容のまとめには、算数用語が使われているため良い。例えば、計算のきまりでは、「結合のきまり」等の表記がされている。
5 創意工夫	○登場人物の吹き出し部分の「つぶやき」から、児童が問題を見出し、解決する過程を重視している。また、その中で働かせる数字的な見方・考え方を、キャラクターや吹き出しを用いることで、他者とのかかりを大切にしながら深めていく授業展開のイメージがしやすい。 ○学習問題が身近な生活経験をもとに提示されている。
6 使用上の便宜	○文章、挿絵、図表、写真、用語などの表記は適切である。 ○文字の大きさ、時間・行間及び書体は児童の発達段階が考慮されており、読みやすくなっている。 △全体的に色が濃いため、刺激が強く、見づらいつと感じる児童がいることが予想される。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上では適切であるが、色が濃く、刺激が強いと感じられることから、【適している】と判断する。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	算数
発行者名(番号)・教科書名	啓林館(61) わくわく算数
1 取扱内容	生活していく上で、基礎・基本となる数学的な知識・技能や、筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力を育成すること、新しいものごとを理解し創造する力、学びに向かう力、人間性などを涵養することを念頭に置いて構成されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の記述内容に空欄が多い。教科書がワークシートのようにっており、作業的な活動を通して学習を進めることができる。 ○教科書の随所にQRコードを散りばめ、興味を喚起し、深い学びにつながるデジタルコンテンツが用意されている。授業だけでなく、自宅学習にも役立ち個に応じた学びができる。1人ひとりの学びを保障できる。 ○テープ図、線分図、数直線など演算決定に関わる図が理解できるよう系統立てて使用されている。 ○「じゅんび」、「見方・考え方を深めよう」の問題を配置し統一的・発展的に考えていくよう展開されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」領域では、思考を確認できるよう構成されて作られている。計算方法の解説も多い。 ○「図形」領域では、底辺と高さを意識することができるよう平行四辺形ではなく、直角三角形の面積を最初に扱っている。 ○「変化と関係」領域では、数図ブロック、テープ図、線分図、関係図を発達段階に合わせて掲載している。数量の関係の問題解決の際に、演算決定しやすい。また、変化を視覚的に理解しやすい。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ○授業で行う「本文」部分と練習問題の「問題」部分に分けられている。本文では、思考の過程がわかりやすく書かれている。 △授業構成を1時間1ページとしているせいか、本文の構成内容が密になっている部分とそうでない部分の差が大きい。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に学び方のフローとノート例を示し、授業の流れや学習方法を意識する内容が記載されている。 ○ポイントや問題の横にQRコードを記載し、電子化にも対応しやすい。 △面積の導入が直角三角形からというところが斬新ではあるが、引き続いて四角形の面積の取り扱いになると、系統性が感じられない。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○書き込み部分が多く自分で教科書を作り上げていくような作りになっており、取り組みやすい。 ○問題の答え合わせを自分でして次に進めるので主体的に学習していくことができる。 ○1年生の教科書は、鉛筆が滑りにくい紙を使用している。
7 その他	
総合的な評価	本文よりも、ワークシート的な部分が多く、授業者は授業の流れを意識しやすい。しかし、取り扱い内容によって、児童が知識を習得するうえで強引な部分を感じられ、児童が主体的に学んだり、自主的に学んだりするには難しい点があるため、【やや適している】と判断する。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	算数
発行者名(番号)・教科書名	日本文教出版(116) 小学校算数
1 取扱内容	学習指導要領に基づき、筋道立てて考え表現するための学び方を習得し、生活や学習の基盤となる算数の礎をしっかりと築き、算数の楽しさを十分感じられる内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	○日常の事象からの問題場面を提示し、単元の学習内容に関心を持たせるよう工夫されている。 ○作業的・体験的な数学的活動を取り入れ、活動の楽しさ、数学のよさが味わえるようになっている。 ○難関単元の「割合」の学習に向けて、3年生以降に「倍」に関する単元を設け、系統だった指導ができる構成になっている。
3 内容の程度	○「数と計算」では、具体的操作を通して、量感覚や数感覚を身につける手立てがとられている。 ○「図形」では、身のまわりの形への着目や操作活動、図形の性質を説明する活動を取り入れ、図形への感覚を豊かに育む内容となっている。 ○「測定・変化と関係」では、具体物を用いた数学的活動を通して、量感が持てるように、実生活とつながるような幅広い分野の活動が設定されている。 ○「データの活用」では、データの収集や分類・整理を楽しめるような配慮がなされ、統計的な問題解決のよさが感じられる構成となっている。
4 内容の構成及び配列	○低学年は、単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないよう構成されているのに対して、高学年は、学習の効果を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。 ○単元末の「わかっているかな」に「まちがしやすい問題」を配置し、つまずきやすい内容について再度確認できるようになっている。 ○巻末には、子どもの実態に応じた問題に取り組めるように、問題が難易度別に掲載してある。
5 創意工夫	○「自分で みんなで」では、側注で「何に着目し、どのように考えていけばよいか」を示し、問題解決方学習における具体的な思考の過程が分かるように表記してある。 ○QRコードによるデジタルコンテンツの数が大幅に増加し、自学自習に向けた支援が充実した。 ○各単元の前には、「次の学習のために」というページに、既習の学年と単元名が示されていて系統が分かりやすい。 ○授業ごとに、「めあて」の近くに「見方・考え方」を配置し、見通しを立てたり、筋道立てて考えたりするための着眼点を示すことで、数学的な見方・考え方を意識させるようになっている。 △書き込むところが多かったり、キャラクターの話す言葉が言い切りになっていたりしているため、思考の展開を限定してしまう傾向が見られる。
6 使用上の便宜	○高学年における教科担任制を踏まえ、1年間を見通した学習ができるよう、5・6年生は合本構成となった。
7 その他	
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上では適切であるが、子どもたちの思考を限定してしまう不安があるため、【やや適している】と判断する。



理科

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	理科
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新版 新しい理科
1 取扱内容	○学習指導要領の理科の目標を達成するために、問題解決の過程を「学びのライン」と一段組みで示し真理を求め、幅広い知識を身につけられるようにされている。 ○学習指導要領に基づき、児童が思考しやすいように「レッツトライ!」「問題をつかもう」等、丁寧な導入がされ、根拠を持った予想や仮説をもち、見通しを持って観察・実験ができるようにされている。
2 内容の選択及び扱い	○全学年の巻末に「理科とプログラミング」が設けられ、QRコンテンツでプログラミングを体験できるようにされている。 ○理科で学んだことを生活や社会とつなげていく「理科の世界 探検部」「理科のひろば」等が設けられている。
3 内容の程度	○単元の導入を重視し、キャラクターのセリフなどで、理科の見方・考え方を働かせた思考や表現の例が示されており、児童が意欲的に理科の見方・考え方を働かせながら思考し、深い学びが実現できるようにされている。 ○「学ぶ前に」と「学んだ後に」で、同じ問いについて考えることで、児童が自分なりに成長が実感できるようにされている。
4 内容の構成及び配列	○観察・実験の場面で必要な基礎技能は、巻末の「理科の調べ方を身につけよう」にまとめて示し、必要なときにすぐに調べられるようにされている。 ●4年「自然の中の水のすがた」が2学期扱いの単元になっているが、結露が起こる時期としては不適切で、単元の入れ替えが必要になる。
5 創意工夫	○写真やイラスト、働く人のコラムなどで登場する人物やキャラクターの男女の比率や、車いすを使用している児童や外国人児童が活動する様子を取り上げ、多様な児童が協力して学ぶことができるように配慮されている。 ○生命保護や環境保全に関わる内容には「かんきょうマーク」をつけて強調したり、全学年の巻末に、理科で学んだことをSDGsにつなげられたりできるようにされている。
6 使用上の便宜	○多色の使用を控え、全体の色調を緑とオレンジで統一し、児童が落ち着いて学ぶことができるように配慮されている。 ●A4版の紙面を採用し、資料性を高めているが、文字に用いている書体や文字の濃さが、見にくく読みにくいように思う。
7 その他	○他教科の既習内容との関連を図りながら学ぶことができるように、随所に「思い出そう」が設けられ、教科横断型の授業を行うことができるように配慮されている。
総合的な評価	自ら課題を設定して解決する場面や、ものづくりの場面を設けられ、自主及び自律の精神や創造性が育成できるように配慮されている。対話を通して思考を広げたり、合意形成をしたりする過程を示し、主体的に社会の形成に参画する態度の基礎を育成することにも配慮されていて、全体的に【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	理科
発行者名(番号)・教科書名	大日本図書(4) 新版 たのしい理科
1 取扱内容	<p>○学習指導要領の教科や各学年の目標が達成できるように、目標と内容の関連づけを行いながら単元を構成している。</p> <p>○主体的・対話的な問題解決の活動を繰り返し、深い学びが実現でき、「理科の見方・考え方」が確かなものになり、目指す資質・能力が伸びるように配慮されている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○単元導入が見開きで構成されており、提示された自然の事物・現象から問題を見いだせるようにされている。</p> <p>○複数の単元の知識・技術をつなげる「学びをリンク」、日常生活との関わりについての資料「りかのたまてばこ」等、コラム関係が充実し、「深い学び」が実現できるようにしている。</p> <p>●各活動に「結論」としてまとめられているが、結論でまとめ上げると、次の問題を生み出す児童の思考を途切れさせてしまうのではないか。</p>
3 内容の程度	<p>○児童の意欲を活かして学習が進められるように、児童の発想をもとに学習展開ができるよう、活動の写真やイラスト、吹き出しによって、活動をスタートさせている。</p> <p>○「作ってみよう」などのものづくりを通して、児童の興味・関心を活かせるように、複数の製作物を紹介している。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」に分けて構成し、その活動を繰り返し行うことで問題解決力がつくように配慮されている。</p> <p>○学習内容に関連する科学技術の紹介や、算数科との関連を「算数科とのつながり」で掲示して、横断的・総合的に実生活に活かしていく学習ができるように工夫されている。</p> <p>○「防災」のページが充実されており、児童が学ぶ際に「防災」に絞って指導が展開できるようにされている。</p> <p>●4年「電池のはたらき」が1学期に扱われているなど、配列を工夫されているようだが、最初の題材が「天気と気温」で、観察等から始めにくいいため、配列に指導しにくさを感じられる。同様のことは5年でも挙げられる。</p>
5 創意工夫	<p>○上質な強度をもち、環境に配慮した目に優しい用紙を用いたり、ページ全体の色使いも配慮されたりしている。</p>
6 使用上の便宜	<p>●重量は軽量になるようにされているが、A4版のため大きく、机上に置くとタブレットを置いたりノートを置いたりするときに不便さが出る。</p>
7 その他	<p>○実験手順の動画や資料映像を豊富に収録している。</p>
総合的な評価	<p>学習指導要領が目指す学力観を念頭に、児童自らが「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しを持って問題解決に向けた活動を展開することによって問題解決能力が養えるように、様々な工夫がされている。写真やイラストも、児童の興味・関心を引くような工夫がされており、全体的に見ると、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	理科
発行者名(番号)・教科書名	学校図書(11) みんなと学ぶ 小学校 理科
1 取扱内容	<p>○学習指導要領を踏まえ、真理を求める態度が育つよう、活動を通して問題をみつけ見通しを持った学習が行われるよう、問題解決の展開を基本として、その流れを「科学の芽を育てよう」で具体的に示している。</p> <p>○自然の美しさや大切さを感じる心情が育つよう、自然とふれあう場面や観察、実験などの活動が多数設けられている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○単元冒頭では、資料性の高い写真や具体的な活動を通して、児童が自ら主体的に問題解決しようとする態度が育つように配慮されている。</p> <p>●学習指導要領で示されている育成すべき資質・能力を「理科モンスター」として明記されているが、児童の見通しを持つこととのつながりがわかりにくい。</p>
3 内容の程度	<p>○身につけたい資質・能力を学年全体と各単元に合わせて具体的に示し、学ぶことを確認し学習の見通しを持つことができるように配慮されている。</p> <p>●単元末や巻末では学んだことを振り返ることで、理解の程度を確認できるようにしているとのことだが、必要以上に解説しているようで、児童の主体的な問題解決につながっているとは言い難い。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○学習後に活用課題を設け、学んだことを使った説明活動を行うことで、意味まで深く理解できるように配慮されている。</p> <p>○第5学年での顕微鏡の使い方等、児童が取り扱う際にわかりやすくまとめられている。</p> <p>●観察・実験からいえること(わかったこと)と、学習内容として獲得すべき科学的な言葉や一般化された知識が設けられているが、児童の理解を導きすぎているように思う(特に6年「ものの燃え方と空気」)。</p>
5 創意工夫	<p>○気象や大気、エネルギーなど、環境に関わる内容が多いため各学年末で学習と関連させてSDGsの目標について科学的な視点で児童自らが考えられるようになっている。</p> <p>○身近な自然に興味をもち、それらを観察するなど、児童自らの体験を通して問題解決を行うことができるよう工夫されている。</p>
6 使用上の便宜	<p>○ユニバーサルデザインの視点でレイアウトや内容を精選できるよう工夫されている。</p> <p>○AB版が使用され、児童が机上で活用しやすいように配慮されている。</p> <p>●使用されている紙質は、児童が鉛筆等で記入しにくい。</p>
7 その他	<p>○本文中及び巻末の「伝える・聞く」など、相手の立場になって考えたり、相手に伝わるように話すことを心がけたりするなど、関わりを大切にすることを心がけた記述になっている。</p>
総合的な評価	<p>試行錯誤しながら学ぶことで、粘り強く学習に取り組む態度や、自ら学習を調整しようとする態度が育つように配慮されているので、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	理科
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) 未来をひらく 小学 理科
1 取扱内容	<p>○学習指導要領の理科の目標を達成するために、児童が主体的に関われるように直接体験を重視し、五感を働かせた観察や体感的な活動を積極的に取り入れている。</p> <p>○单元ごとに主人公を設定し、主人公が問題を解決していく姿を追うことによって、児童が主体的に学習を進められるように配慮されている。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○様々な单元で、問題に対する予想や調べ方などについて、児童の考えを伝え合う場面を設定することによって、言語活動の充実が図られるように配慮されている。</p> <p>●各活動に「結論」としてまとめられているが、結論でまとめ上げると、次の問題を生み出す児童の思考を途切れさせてしまうのではないか。</p>
3 内容の程度	<p>○天気・川・土地などの学習で、「台風と災害」「川と災害」「地震や火山と災害」を設け、学習内容と関連させて自然災害とその対策を扱うことで、児童が問題意識をもって防災や減災の取組を理解できるように配慮されている。</p> <p>○6年「電気の利用」でプログラミング教育について扱い、センサーを使ったプログラミングの活動を紹介し、児童にとってわかりやすいプログラミング活動が体験できるようにしている。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○巻頭の「学習の進め方」で「見つけよう」「問題」「予想しよう」「計画しよう」「観察・実験」「結果から考えよう」「結論」とわかりやすく示し、問題解決の力を養うことを重視していて、それらをつなげてページ単位で上から下へ流れるようなデザインも施してある。</p> <p>○各単元の初めに学習の系統を「学習のつながり」で示したり、問題を解決する際に活用したい既習内容を「思い出そう」で示したりして、児童が系統的に学習を進められるように配慮されている。</p> <p>●4年「ものあたたまり方」の中で、空気のアたたまり方で紹介された実験は、容易に準備しがたく扱いにくい。</p>
5 創意工夫	<p>○各学年の巻頭に「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を設け、自分の考えを伝え、相手の考え方を聞くことの大切さを示すことにより、国語科の学習との関連が図れるように工夫されている。</p>
6 使用上の便宜	<p>○紙面の印刷では、イラスト、写真が正確な色彩で表現され、児童が親しみやすく、意欲をもって学習できるように配慮されている。</p>
7 その他	<p>○実生活・実社会と学習内容との関連を図るために、学習の内容と関連のある専門家からの「メッセージ」掲載し、学習との関わりを意識できるように工夫されている。</p>
総合的な評価	<p>全体的に児童の予想や計画に基づいた観察・実験などを設定し、児童が問題意識をもって観察・実験などに取り組めるように配慮されているので、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	理科
発行者名（番号）・教科書名	啓林館（61） わくわく 理科
1 取扱内容	○学習指導要領を踏まえ、問題解決の流れを「学びのサイクル&ライン」でわかりやすく示し、主体的・対話的で深い学びを繰り返し、真理を求める態度が養われるようにしている。
2 内容の選択及び扱い	○「問題」の前に「問題をつかもう」が適宜設定されていたり、児童が主体的に問題を見つけられるような問題設定がされていたりしている。 ○「問題をつかもう」や「予想・計画」を立てる場面で、話し合う活動を設定している。 ○巻末に、「かく」「伝える」を掲載し、記録カードのかき方やノートのまとめ方、話し合いや発表の方法など、言語活動が充実するようにされている。 ○QRコードが掲載されているが、そこに頼るのではなく、教科書が担う部分を明らかにしている。
3 内容の程度	○「みんなで使う理科室」を設置し、理科室での約束や実験中等の注意事項を身につけ、器具や薬品の扱いに習熟できるようにしている。 ○授業時間内で児童が主体的に実験・観察でき、よりよい結果が得られる内容・手順を掲載している。
4 内容の構成及び配列	○各単元において「問題→予想と計画→実験・結果→考察しよう→まとめ→もっと知りたい」と構成され、そこから次の「問題」へと探究型に構成され、児童が見通しを持って主体的に学べるように配慮している。 ○6年「ヒトや動物の体」の構成が、児童の生活から考えやすいように構成され、全体を捉えやすいようにまとめられている。 ○5年「雲と天気の変化」、4年「夏の夜空」等、実際に授業中に見にくいものの写真が、わかりやすく、興味を持ちやすいものが用いられている。 ●5年の第一単元で「花のつくり」を扱うことは良いが、後半に実験が続いているので、実験・観察のバランスを考慮してほしい。
5 創意工夫	○「ふりかえろう」のページが「まとめノート」になっていて、児童のノート活用や自主学習に取り組む際の参考になる。 ○「理科につながる算数のまど」では、既習の算数の内容を、理科の学習の具体例で取り上げ、算数との連携も図っている。
6 使用上の便宜	○小学生にとって机上スペース内で取り扱いやすい大きさで、ヒトの目からの情報受容にも適したAB版の版型を採用している。
7 その他	○「くらしとリンク」や「自由研究」のページ等、教科の中だけでなく、横断的、発展的に学習が展開できるような工夫もされている。
総合的な評価	学習指導要領を踏まえ、児童の主体性を伸ばし、対話的な場面を持ちやすいように問題設定され、次から次へと探究したくなる深い学びの実現に向けて構成されており、全体を通して「理科を楽しむ 見方・考え方」を養うように配慮されていることから、【最も適している】。

生活

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	生活
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) どきどきわくわく あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 新しい生活 下
1 取扱内容	○対象と十分にに関わり合う時間を確保できるよう、身近で取り組みやすい学習活動や学習材が重点的に取り上げられている。 ○学習指導要領で育成が目指されている資質・能力の3つの柱(知識及び技能の基礎、思考力・判断力・表現力の基礎、学びに向かう力・人間性)が、吹き出しや児童の姿、表現作品などで具体的に例示されている。
2 内容の選択及び扱い	○上巻では、対象と直接関わる体験活動と、気付いたことを表現・交流する活動を一体的に扱うとともに、季節のまとまりごとに、児童の発達や学習活動に合ったまとめ活動が例示されている。 ○下巻では、体験活動と表現活動を往還させ、気付きを自覚したり、関連付けたり、視点を変えて捉え直したりすることで気付きの質を高め、「深い学び」を実現する学習活動が例示されている。
3 内容の程度	○学校や学級、児童の状況に応じて、発展的、選択的に活用できる「やってみよう」が教科書やQRコンテンツの随所に設けられている。 ○全ての単元が試行錯誤しながら思いや願いを実現する学習活動で構成され、楽しみながら問題発見・解決能力が育成されるように配慮されている。
4 内容の構成及び配列	○児童の発達段階や特性を踏まえ、関わる対象や、思いや願いの質、育成する資質・能力等が、上巻から下巻へ段階的に高まるように構成されている。 ○児童の空間的な認識の発達を踏まえ、上巻では教室から学校全体、さらには自分の通学路へ、下巻では学校の周辺から地域へと活動範囲が広がっていくように学習活動が構成されている。
5 創意工夫	○児童が具体的な活動や体験への意欲を引き出せるよう、児童の活動場面が、美しくダイナミックで表現豊かな写真や挿絵で表現されている。今まで活動してきたこととつなげて、さらに学びを児童が深められるよう工夫が凝らされている。 ○例えば1人1台端末を活用して見ることができる「きせつのくらし図かん」や実物大の植物を掲載した「ほんとうのおおきさいきものずかん」等、学習活動に即して利用できるQRコンテンツや資料が充実している。
6 使用上の便宜	○上巻と下巻で本文の大きさを変える等、低学年児童の発達に合わせた文字が使用されている。また、文節で改行されたり、分かち書きされたりしており、低学年児童の読みやすさに配慮されている。 ○安全面、衛生面での配慮が必要な活動や対象には「てあらいマーク」「ちゅういマーク」が付されるとともに、特に注意喚起が必要な事項には「やくそく」が掲載されている。
7 その他	特になし。
総合的な評価	○単元で主に育成を目指す資質・能力を本文とマークで示唆し、指導と評価の一体化を目指せるように配慮されている。 ○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現をサポートするための工夫が随所に見られる。 ○全般にわたりに優れており、使用に関して【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	生活
発行者名(番号)・教科書名	大日本図書(4) たのしいせいかつ 上 だいすき 下 ひろがれ
1 取扱内容	○活動や体験を通して身近な人々や社会や自然と関りを深める中で、地域への愛着や生活に必要な習慣・技能を身に付けられるよう工夫されている。
2 内容の選択及び扱い	○「はなしかためいじん」「ききかためいじん」「話し合い名人」「はっぴょう名人」といったコーナーで、話し合い方や発表の仕方をわかりやすく示し、交流・発表活動において児童の言語能力が育まれるよう配慮している。 ○下巻の「楽しさ ひろがれ わたしのおもちや」の単元では、「どのおもちやを作ろうかな」と何種類もの手作りおもちゃが紹介されているが、本編の挿絵や写真と吹き出し文だけでは、子どもたちはイメージしづらい。後述の「がくしゅうどうぐばこ」の①楽しいおもちゃの説明も雑で低学年児童が主体的に制作活動を行うことは難しい。
3 内容の程度	○発展的学習内容を設け、児童の興味・関心に応じて、上位学年の内容について、活動に関連させ扱うことができるように工夫されている。 ○掲載されているワークシートの内容やバリエーションが少ないように感じる。
4 内容の構成及び配列	○上巻は「だいすき」をテーマに、下巻は「ひろがれ」をテーマにそれぞれ単元が構成されている。また、上巻「たのしいよ 1ねんせい」はスタートカリキュラムを意識した内容になっている。 ○内容がイメージしやすいように詳しく書かれているが文字数が多く、写真や挿絵の大小と内容の重要度が合っていないところがある。
5 創意工夫	○「せいかつことば」「きらきらことば」といった欄を設け、児童の語彙力向上とともに、豊かな表現力の育成、表現活動の充実が図れるように工夫されている。 ○小単元ごとに「きもちマーク」という学習の振り返りや心の動きを表情で表すマークが示されていて、対象や活動に対する児童の思いや興味・関心の度合いを自分や教員が分かりやすく振り返ることができるように工夫されている。
6 使用上の便宜	○タッチやフォントが違う挿絵やイラストが混在していて見にくい。 ○全体的に写真の色合いが濃すぎたり、暗かったりして見にくい印象をうける。 ○敢えて見開き2ページをモノクロ写真でイメージを膨らませるページを設けているが、逆に季節感が感じられずイメージを膨らませにくい。 ○上下巻ともに表紙や本文内にURコードを配置し、一人一台端末を使って学習に広がりをもたせる工夫がなされている。
7 その他	特になし。
総合的な評価	○子どもが自らの興味・関心を高めていき、多彩な活動を生み出したり、主体的に学習に取り組んだりするための工夫がもう少しほしい。 ○紙面の構成や写真・挿絵、イラスト等の配置等、検討課題がみられるが、創意工夫もあり、【やや適している】と考える。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	生活
発行者名(番号)・教科書名	学校図書(11) みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上下
1 取扱内容	○学習指導要領に準拠し、具体的な活動や体験を重視した内容になっている。 ○単元全体を通して、子どもの身近な人々や地域、自然と直接関わる場面が多く設定されている。
2 内容の選択及び扱い	○活動の記録については、活動時の自分の気持ちを含めてカードに表現・記録する方法を示している。しかし、例示されている子どもの文例がやや子どもらしさに欠けている感がある。 ○各単元冒頭では、子どもたちの思いや願いを軸に、無理のない活動展開が設定されている。
3 内容の程度	○「飼育」の単元では、上巻は小動物に触れたり身近な生き物に親しんだりすることが中心で、下巻では見つけた生き物のことを調べ、継続的に飼育していこうという構成になっている。 ○他教科との関連を意識した内容になっているが、はっきりと示されていないため、指導者の教材研究がしっかりとできていないと関連付けにくい。
4 内容の構成及び配列	○ほぼ全ての単元が、時系列的に活動時期を限定せず、自由に学習時期を組み替えることができる構成になっているが、下巻では、「まちのきせつ冬」の次に夏野菜を育てる単元になっており不自然さを感じる。 ○活動の内容が、写真や図でたくさん例示されているが、その活動から子どもたちがどのような学びを得るのかが分かりづらい。
5 創意工夫	○上巻「はじまるよ しょうがっこう」はスタートカリキュラムとして学校生活の様子がよく分かるように写真やイラストが多数掲載されているが、実際の姿を振り返ったり、物の置き方や片づけ方を知るためには、写真に統一した方がよい。 ○上下巻を通して、子どもたちと一緒に成長していく4人のキャラクターを登場させ、子どもの主体的な活動意欲が引き出されるように工夫されている。
6 使用上の便宜	○配当漢字とカタカナは、1年の2学期以降に相当する単元から使用されており、漢字には全てふり仮名が付けられている。 ○写真は臨場感が溢れ、子どもの活動意欲が引き出されるように配慮されている。
7 その他	○特になし。
総合的な評価	○今日的な教育課題である人権、福祉、国際理解、安全といったことへの配慮が各単元でなされているところは良いが、写真やイラストの配置やその意図、単元の配列については課題があり、【やや適している】と考える。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

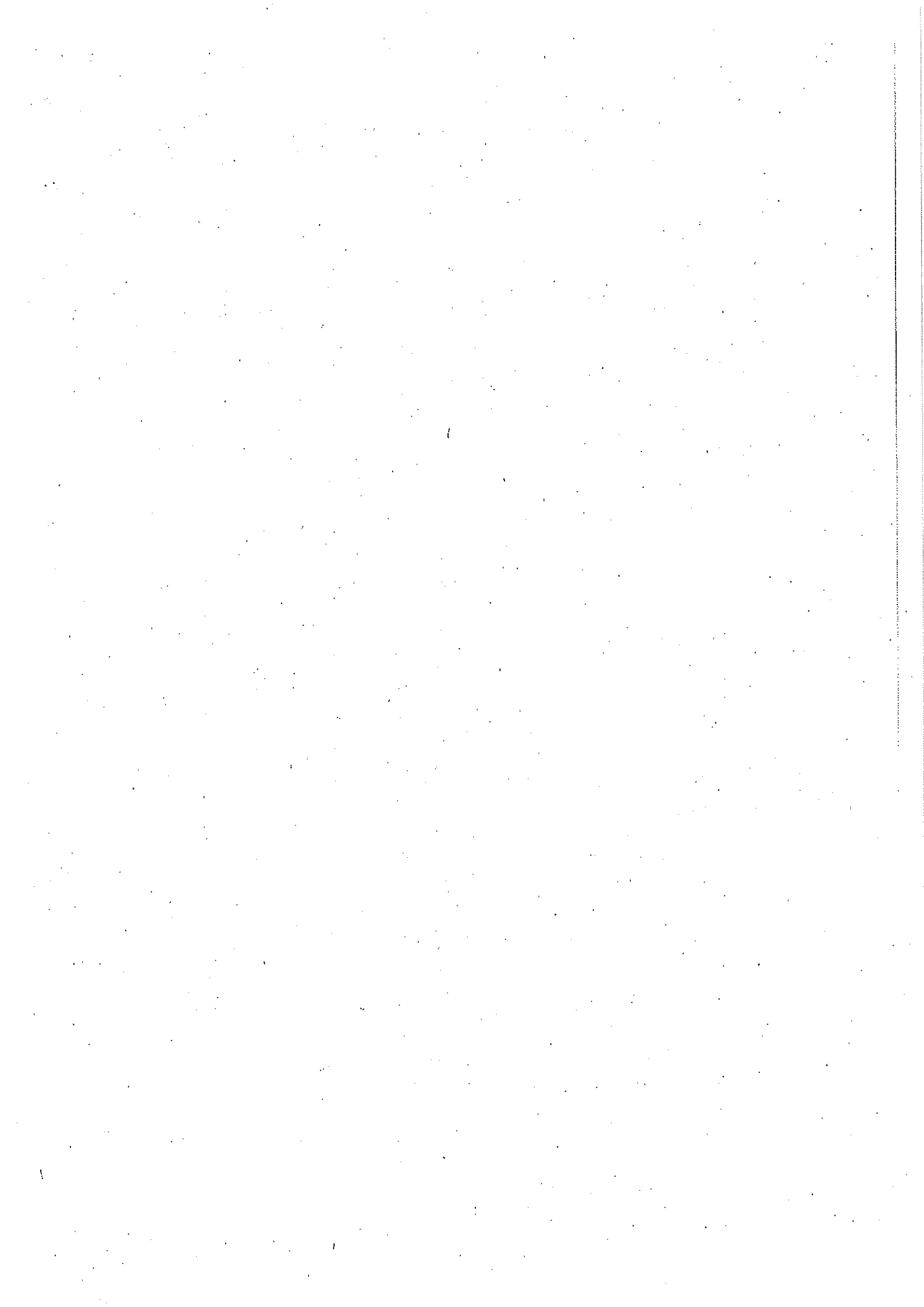
教科(科目)名	生活
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) 上 みんな なかよし 下 なかよし ひろがれ
1 取扱内容	○身近な人々、社会及び自然などの学習対象と自分の関わり、学習過程の中で自分自身や自分の生活について考えることやそのための方法が単元名や本文に示され、それを生かした学習活動が設けられている。 ○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、挿絵、動作、劇化、ICT機器の活用等、多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示されている。
2 内容の選択及び扱い	○高齢者、幼児、外国にルーツがある人、障がいのある人等と一緒に活動を行ったり、交流をしたりする活動が設けられていて、同じ学校や地域で共に生活していく態度を養えるよう配慮されている。 ○「きづく」「かんがえる」「つたえる」等の言葉が見開き左側に記されており、単元で育てたい力が焦点化されている。
3 内容の程度	○学校から地域への活動の広がりや、諸感覚を使った体験活動から、社会的、理科的な側面をもつ思考の高まりなど、上巻から下巻へと発達段階に応じて、児童の行動範囲や気付きが広がっていくように配慮されている。 ○学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できる学習活動が繰り返し設けられている。
4 内容の構成及び配列	○各単元に振り返りの活動「なにをかんじたかな」が設けられ、熱中し没頭したことを表現したり、友だちと交流して認め合ったり、振り返って捉え直したりする構成になっている。 ○上下巻を通して、二人の主人公の表現活動が例示されており、1年生の表現内容と、社会科や理科、総合的な学習の時間などに接続する2年生の表現内容とでは、質、内容、ともに高まり深まっていく構成である。
5 創意工夫	○単元名や活動の観点、育成したい資質・能力を示した「サイコロのアイコン」や気付きやつぶやきをたどっていく「はっけんロード」等、学習のねらいや見通しを明確にしながら、児童が主体的・対話的に学びを深めていく工夫がなされている。 ○各単元に、コラム「ヒント」が設けられ、見つける、比べる、例える、試す、見通す、工夫するといった学習方法を繰り返し行えるような工夫がなされている。また、これらの学習方法を使う活動が豊富に設けられている。
6 使用上の便宜	○「まなびリンク」というQRコンテンツには、動植物の図鑑、ワークシート、活動や学び方を示唆した動画があり、一人一台端末に対応して「個別最適な学び」や「共働的な学び」へのヒントが掲載されている。 ○単元導入の「わくわくスイッチ」は、児童の多様な思いや願いを言葉にして、活動の動機付けを共有できるよう工夫がなされている。 ○学びや活動のヒントが大きな写真や挿絵で分かりやすく表現されている。
7 その他	特になし
総合的な評価	○生活科の目標に則した知識・技能の習得、思考力・判断力、表現力の育成、学びに向かう力・人間性の育成が十分に図ることができる内容や構成である。 ○絵本や4コマ漫画の人気キャラクターが多くのページで登場するが、子どもがキャラクターに気を引かれて内容が入りにくい一面もある。 ○全般にわたり優れており、使用に関して【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	生活
発行者名(番号)・教科書名	光村図書出版(38) せいかつたんけんたい 上 はじめてがいっぱい 下 はっけんだいすき
1 取扱内容	○全単元において、児童にとって身近で取り組みやすい学習活動や学習対象が取り上げられており、児童が対象と繰り返し関わり、体験活動が充実するような内容になっている。 ○SDGsに代表される現代的な諸問題について、外来生物との関わり方や、資源を大切にすることなど、低学年でも考えたり取り組んだりできる内容が、無理なく取り上げられている。
2 内容の選択及び扱い	○児童が身近な対象について、自分との関りで興味・関心が高められるよう、活動の見通しがもてる問いかけになっている。 ○児童の発達段階に応じ、対象や関わり方について配慮された飼育活動・栽培活動が、上下巻それぞれに位置付けられている。また、地域性によらず、飼育・栽培しやすい学習対象取り上げられている。
3 内容の程度	○単元ごとに大きな内容でまとめ、発達段階を考慮して上巻では学校及び学校周辺での活動を中心とした自然体験を多くした内容、下巻では、飼育・栽培活動から学校周辺の地域へと活動が広がるよう構成されている。 ○上巻の「がっこうたんけん」の単元から文字数が多く、1年生には扱いづらい。また、見開きのページの中に何種類もの字体(フォント)が混じっていることも内容を難しく感じさせている。
4 内容の構成及び配列	○単元は季節に沿って無理なく構成・配列されており、十分に対象と関わる活動が展開できる配当時間を設定した年間計画が設定されている。 ○1「ここではどんなことをするのか」2「ヒントを見て考えよう」3「学習してどう思ったのかな」という流れで単元が構成され、そこから学習のねらいも明確にすることができる。
5 創意工夫	○人気絵本作家のイラストと言葉が教科書の中にたくさん登場し、子どもの興味・関心を高める工夫がなされているが、そのことで文字数が増えたり、観察カード等の写真が小さくなったりして、かえって学習のポイントが分かりづらくなっている。 ○上下巻とも巻末に「きせつのなかまたち」や「ひろがるせいかつてん」といった資料がまとめられ、切り離して使用できるように工夫されている。
6 使用上の便宜	○「こんなこともあるかもね」や「こんなのもいいかもよ」等のコーナーは、読むとほっこりするが、学びにつながりにくい内容もある。また、字体が適切でなく「そーねー」「なにがいいかなー」等、ひらがなとカタカナが混じった表記があったり、上巻の生き物を育てる単元からカタカナ表記がたくさん出てきたりして適切さに欠けるところがある。
7 その他	特になし。
総合的な評価	○人気作家のイラストと言葉を中心に教科書を構成することによって絵本のような世界観を創っているが、そのぶん文字数が多く感じたり、写真が小さくなったりして、学習のポイントが分かりづらい欠点もあり、【やや適している】と考える。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	生活
発行者名（番号）・教科書名	新興出版社啓林館（61） わくわくせいかつ 上 いきいきせいかつ 下
1 取扱内容	○児童の生活圏が学習の対象や場として設定されており、児童が体全体で身近な環境に直接働きかける創造的な学習活動が行えるように配慮されている。 ○見つける、比べる、例える、試す、見通す、工夫する等の気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動の例が豊富に示されている。
2 内容の選択及び扱い	○単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、単元を通して活動が連続しながら発展、深化し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○「めぐり言葉」には、児童の次の活動に向けての思いや願いが例示され、単元を通して学びが連続的・発展的に深まる工夫がされている。
3 内容の程度	○上下巻ともに、季節に沿って単元が構成され、単元が進むにつれて活動が広がり、深まっていくように配列されている。 ○低学年児童が親しみやすい学習活動や学習対象、学習材が取り上げられており、児童の興味・関心を生かして授業が展開できるようになっている。
4 内容の構成及び配列	○低学年児童の発達の段階や特性を踏まえて、上巻は主として学校を、下巻は主として地域を活動の場とし、活動の場が徐々に広がっていくように配慮されている。 ○「できるかな できたかな？」コーナーでは、学習過程や成果を振り返り、自らの成長や学びの深まりを実感できるように工夫されている。
5 創意工夫	○上下巻ともに「がくしゅうずかん」（巻末資料）に、学習に関連する様々な資料を掲載し、主体的に学習する態度を養いながら、幅広い知識が身に付けられるように配慮されている。 ○「こんなときどうしよう」や「学びのヒント」コーナーなどで、基本的な生活習慣や生活技能、健康や安全に関する知識が身に付くように工夫されている。
6 使用上の便宜	○文章は、文節で分かち書きされており、低学年児童も読みやすいように工夫されている。 ○興味・感心を喚起するダイナミックな写真と緻密な資料としての写真が、メリハリをつけて適切に配置されている。
7 その他	特になし。
総合的な評価	○生活科の活動をより深める・広げるための「ひとつの道具」として、ICTが有効な場面にはタブレット端末や電子黒板等を活用した活動を低学年の発達段階や生活科の特性に配慮しながら例示されている。 ○「わくわく」→「いきいき」→「ぐんぐん」という学びの連続性を重視した構成は、児童にとって見通しを立てやすいだけでなく、生活科を初めて指導する教員にとっても授業計画を立てやすい構成になっている。 ○全般にわたり大変優れており、使用に関して【最も適している】と考える。



音樂

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	音楽
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) 小学音楽 音楽のおくりもの
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科(国語・算数・理科)と関連する活動や、歌を通して外国語に親しむ活動を設けている。 ・我が国の伝統的な楽器や民謡、諸外国の音楽などの鑑賞や方言を通して多様な文化に触れることができる。 ・国語や算数、英語などのかかわりのある曲があり、教科横断的な学習ができる。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの発達段階に合わせた編成で、全校で一つの曲を歌う一体感や楽しさを体験できる、学校行事などにも適した「音楽のおくりもの」「さんぽ」を全学年に掲載している。 ・教科書後方に「音楽を表すいろいろなことば」が例示され、音楽鑑賞の方法が分かりやすい。 ・世界の音楽を多く取り上げ、君が代や各国の国歌を尊重する内容となっている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方の例示や学びリンクがあり、学習しやすい。 ・即興的に表現する活動が、随所に掲載されている。 ・輪唱が数多く扱われている。 ・楽しく学習活動しながら、着実にステップアップが図れるように構成されている。 ・合奏曲の選曲が親しみやすいがやや難解に思われる。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性のある題材の配列で、どの子どもにとっても楽しめる学びが提供されている。資質・能力を育みながら、子どもたちの学びが深まるよう、構成されている。 ・写真やイラスト、文字の情報が多く、見づらい印象を受けるページがある。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞と情景が見開き3ページで示され、楽譜は別のページに掲載されている。大きな写真で情景を豊かに膨らませ、子どもたちの楽しい音楽体験のための構成がなされている。 ・1年生の鍵盤ハーモニカの導入がていねいである。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書掲載の二次元コードから、動画や音源、ワークシートなどを利用できる「まなびリンク」はコンテンツ数が150本以上ある。 ・ユニバーサルデザインフォントが使われている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・右ページ上部には、「音楽のもと」として、その題材に関連する音楽を形作っている要素についてまとめられている。 ・右ページの端には新しく学習する音符や記号がまとめられている。
総合的な評価	<p>系統性のある題材が配列され、他教科との横断的学習につなげることができる配慮がみられることから、子どもの感性を大事にした音楽学習ができる。教科書として【適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	音楽
発行者名(番号)・教科書名	教育芸術社(27) 小学生の音楽
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習に取り入れたり、音楽が持つ力や役割などの音や音楽に関わるコラムなどを設けたりして、子どもたちが音や音楽に対してもった興味・関心と、音楽科の学習がつながるようになっており、生活や社会と自分とのかかわりが感じられるよう工夫されている。 ・SDGsにつながる歌唱教材が取り入れられている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な歌や親しみのある曲が採用され、鑑賞教材も興味・関心の持てるものとなっている。 ・教科横断的な題材を取り上げ、他教科との関連性が組み込まれている。 ・国際理解や家族愛、礼儀など道徳教育や人権教育に対する配慮がなされている。 ・君が代についての歌詞に込められた願いや各国の国歌を尊重することなどが学年に応じて記されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの導入がていねいで、楽器の構造、構え方、息の使い方など順を追って、リコーダーに親しむことができる。 ・器楽の練習曲は、1曲の中に簡単な部分と少し難しい部分を組み合わせ構成しているものが多い。 ・子どもたちが声を重ねる楽しさや美しさを感じとりながら、声を合わせて歌う力を身につけられるように、交互唱、輪唱、オスティナート唱、パートナーソング、部分三部合唱、三部合唱と段階を踏んで構成されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランス良く配置されており、系統的な題材構成となっている。 ・学習活動が「思考力・判断力・表現力等」「知識」「技能」の3観点にかけて示されている。 ・「何を目標に」「どのような活動を通して」「何を学ぶのか」が一目でわかるように示されているため、見通しをもって学習に取り組むことができる。 ・巻頭の学習マップでは学習の見通しが持てる。また、ふりかえりのページでは、学習したことが分かりやすくまとめられている。 ・打楽器の持ち方や打ち方がイラストでわかりやすくあらわされ、音色にこだわって音を出すことに意識が向けられるような文言も表記されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に出てくるマークがあり、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が明確に示されている。 ・キャラクターが登場し、児童の興味関心がより一層高まる工夫がされている。 ・ワクワクするような紙面の工夫によって、子どもたちの心が育てられる。 ・呼びかけることばの囲みの色と形が変えられている。

6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、ユニバーサルデザインの編集・紙面づくりがなされている。1ページ内で使用されている色の数が少なく淡い色合いになっており、見やすい。それゆえ様々な状態にある子どもたちが、わかりやすく学習を進められる紙面になっている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面右上の二次元コードを読み取ることで、タブレット端末でコンテンツにアクセスでき、個別最適な学びをサポートできている。 ・写真の隅に撮影場所が記載され、児童の世界観を広げる工夫がみられる。また、歌詞と重ならないよう、写真の配置にも工夫がみられる。
総合的な評価	<p>教材が児童の興味・関心や視野を広げる視点で選定されている。全体的にシンプルで見やすい構成である。教科書として【最も適している】。</p>

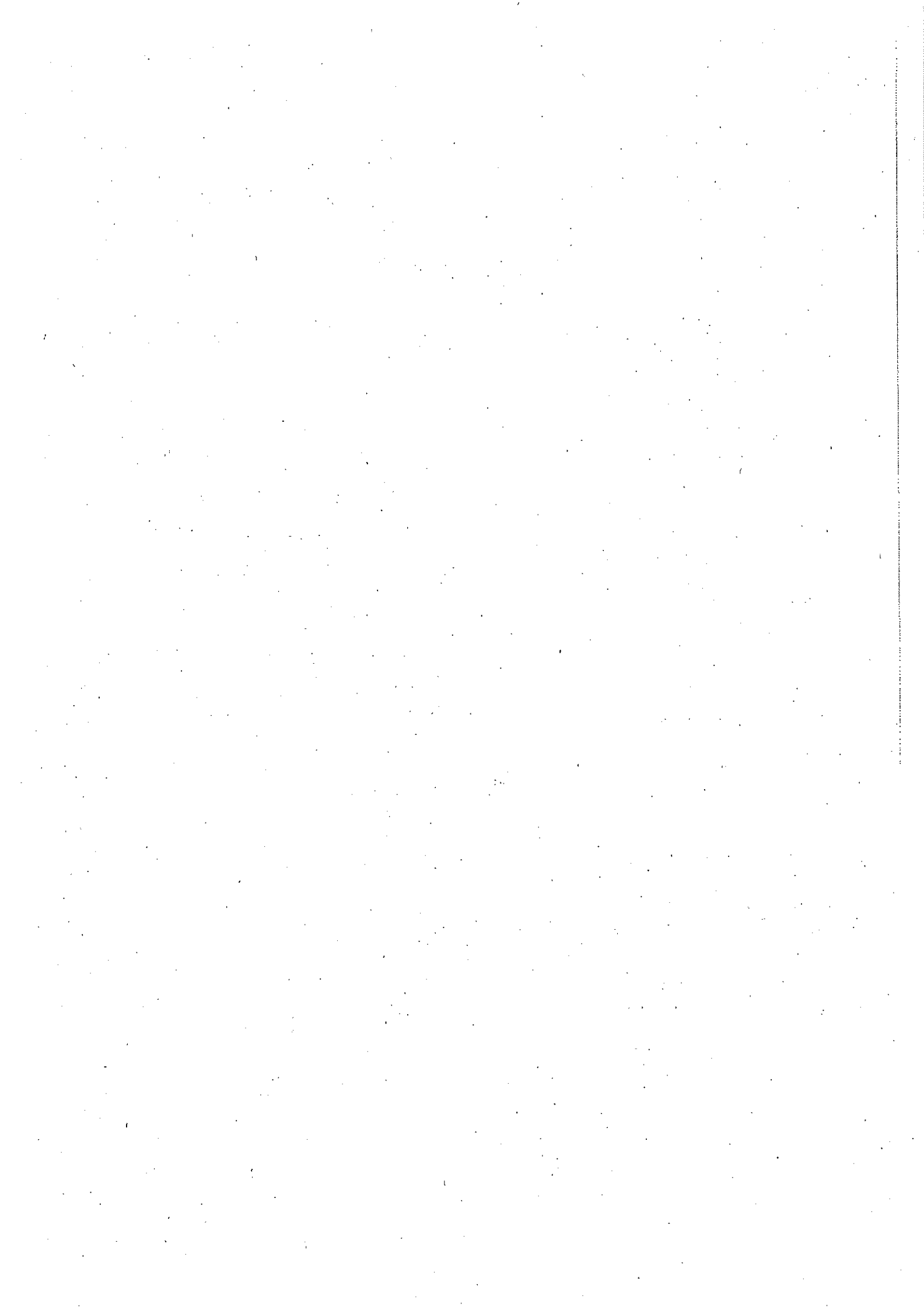
图画工作

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	図画工作
発行者名(番号)・教科書名	日本文教出版(116) 図画工作(まるごとたのしもう 他)
1 取扱内容	・主体的・対話的で深い学びをめざした「学習の進め方」が示され、児童が造形的な見方・考え方を促す投げかけや他者と協働して取り組める活動が取り入れられている。取り扱われている「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の各内容は、学習指導要領の学年の目標をバランスよく満たすものとなっている。
2 内容の選択及び扱い	・多様な児童が興味・関心をもつことができるように、さまざまな発想のきっかけから活動に取り組める題材となっている。表現及び鑑賞の活動を通して生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる資質・能力を育成することを重視し、身近な素材を活用した内容と題材選定の工夫がなされている。QRコンテンツの活用による個別最適な学びへの配慮がなされている。
3 内容の程度	・学年の発達段階と学習指導要領の各学年の目標に沿った内容となっており、例示されている児童作品についても、児童が取り組むにあたって適切な程度のものである。
4 内容の構成及び配列	・主体的・対話的で深い学びの第一歩である、学ぶことへの意欲を引き出す構成(題材紙面)となっている。配列については、各学年で発達段階に応じて、実践に適切な季節及び行事、内容や学習指導要領で扱われる用具・材料によってカリキュラム順に構成され、配列されている。
5 創意工夫	・「鑑賞」の内容別題材数が多く、また、各題材の中に「鑑賞」の視点を設ける工夫がなされている。QRコードから1300以上の児童作品を鑑賞することができる。巻末のアートカードは、有効活用が期待できる。 ・日本の伝統美術等について題材ページや特設ページで紹介し、発達の段階に応じて学ぶ工夫がなされている。 ・資源・環境(SDGs)の視点では、プラスチック製の空き容器やストローなどを大量に使用した題材を削除または別の材料を使う題材に変更し、令和2年度版と比較し、題材で使用するプラ材を約70パーセント削減する工夫がなされている。片付けにおいて余った材料の保管を促すなど環境に配慮している。 ・ユニバーサルデザインに配慮した色、フォントを使用している。教科書の左下に示されている材料や用具のデザイン・色等についてもシンプルで無駄がない。
6 使用上の便宜	・学年に合わせて文字の大きさが調整され、見やすく、楽しく取り組めるようデザインされている。材料や用具の取り扱いについて、「材料と用具の引き出し」に写真やイラストで丁寧に説明されている。
7 その他	・活動の場面ごとに、学習をサポートする投げかけが示されている。「導入」や「振り返り」の言葉かけの表現は、児童の活動への意欲を引き出し、活動を思考へとつなげるために適切な表現となっている。 ・片付けにおいて余った材料の保管を促すなど環境に配慮している。
総合的な評価	・学習指導要領に基づき、教科の目標とする資質・能力や態度を育成する上で【最も適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	図画工作
発行者名(番号)・教科書名	開隆堂出版(9) 図画工作(わくわくするね 他)
1 取扱内容	・育てたい資質能力の3つの柱に沿った学習のめあてとともに振り返りの視点が各題材に示され授業の展開が明確になっている。取り扱われている「造形遊び」「絵」「立体」「工作」「鑑賞」の各内容は、学習指導要領の学年の目標を満たすものとなっている。
2 内容の選択及び扱い	・表現及び鑑賞の活動を通して生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる資質・能力を育成することを重視し、身近な素材を活用した内容と題材選定の工夫がなされている。
3 内容の程度	・内容については、学年の発達段階と学習指導要領の各学年の目標に沿ったものである。「外国の友だちの絵」も紹介されており、多様な児童作品が掲載されている。
4 内容の構成及び配列	・各学年で発達段階に応じて、季節及び行事、内容や学習指導要領で扱われる用具・材料によってカリキュラム順に構成され配列されている。各題材では、育てたい資質・能力に対応したキャラクターが活動のポイントをアドバイスしているが、やや多様性に欠けている。 ・「あわせて学ぼう」として、具体的な活動を想起させる文章を示し、教科横断的な学習への手立てが示されている。
5 創意工夫	・「表現」の内容別題材数が多く、児童がさまざまな角度から表現活動に取り組むことができる。 ・表現技法、材料、用具の扱いについて具体的に示した項「用具や材料を知ろう」を特設しており、児童が基本的な技法を身に付けるのに適している。 ・「みんなのギャラリー」において日本の伝統美術等の写真の掲載をすることで美術文化の継承、発展について重視している意図がみられる。 ・学習活動との関連からSDGsにかかわる造形的な取組などを紹介するコラムを掲載している。また、プラスチック製ストローを紙ストローに替えたり他の造形遊びの材料を次の工作で使ったりするなど材料を無駄にしない工夫がなされている。学習内容や材料などが、次の題材でも利用できるように構成されている。
6 使用上の便宜	・印刷には、人体への影響が少ない植物性インキが使われているが、やや鮮明さに欠ける。 ・表現技法や材料・用具の知識が巻末に「学びの資料」としてまとめられている。
7 その他	・児童の造形に対する意欲をより引き出すためには、デジタルコンテンツの「はじめに」動画や題材冒頭の「学習のめあて」及び振り返りの文言や提示の仕方について、児童の現状に合わせて検討する必要がある。
総合的な評価	・学習指導要領に基づき、教科の目標とする資質・能力や態度を育成する上で【適している】。



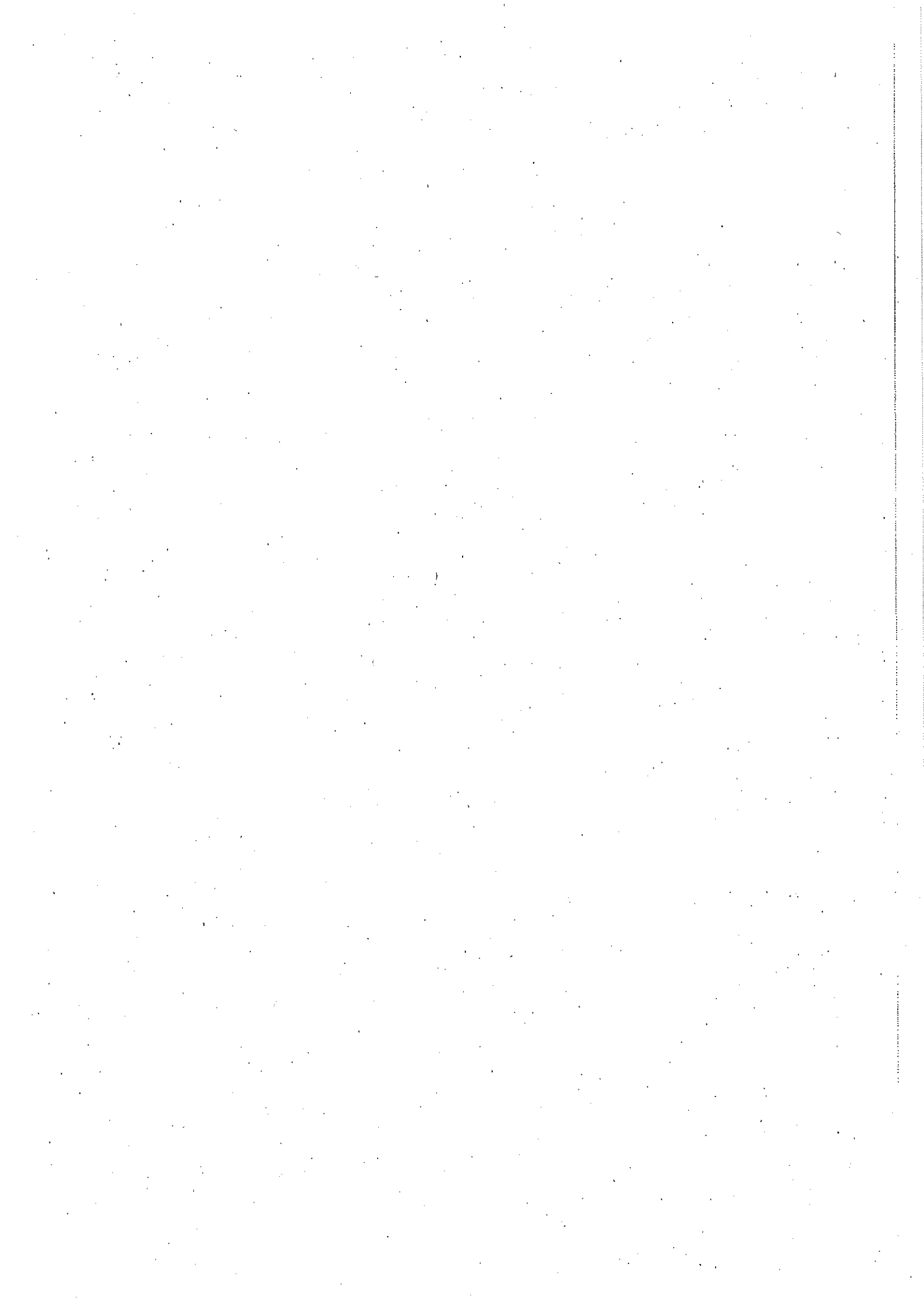
家庭

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	家庭
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍2 新しい家庭
1 取扱内容	学習指導要領に基づき、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」に関わる学習を通して、子どもたちが主体的に学ぶ楽しさを体験し、よりよい生活を営むために工夫できる内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	○「見つめる」「計画・実践」「生かす・課題を見つける」の3ステップで展開され、問題解決的な学習が実現できる。 ○「家庭科の窓」で見方、考え方が示されており、視点を意識して学習を進めることで深い学びにつなげることができる。 ○「住まいの主な働き」について記載がある。 △「ひと針に心をこめて」・・・児童にとってわかりにくいタイトル
3 内容の程度	○「ゆでる調理でおいしさ発見」では、調理のポイントを児童が考え見つける展開になっていて、知識・技能の定着につながっている。 ○「ボタンのつけ方」では、写真が使われており、針を動かす方向が矢印で示されていてわかりやすくなっている。 ○「いつも確かめよう」で実物大の写真の掲載があり、児童がイメージしやすくなっている。 ○「家族や地域の人々とのかかわり」では、「幼稚園とのオンライン交流」をとりあげており、取り組みやすい内容となっている。 △じゃがいもの皮をむいてからゆでる手順となっており、包丁の扱いになれていない児童にとっては難しい。 △みそ汁・・・ねぎを入れて沸騰してから火を止めるとなっているが、沸騰前に火を止めるほうがよい。
4 内容の構成及び配列	○「成長の記録」が設けられており、振り返りと次へのチャレンジが記入でき、「生活を変えるチャンス」につながっている。実践に生かすことができるようになっている。 ○巻頭に「いつも確かめよう」として気をつけるべきことがまとめられており、確認しやすい。
5 創意工夫	○ミシン各部の名前が大きくてわかりやすい ○夏休み前に「夏休みワクワクチャレンジ」があり、学んだことを生活に生かす場面が設定されている。
6 使用上の便宜	○動画コンテンツが充実しており、教科書との併用で学びを深めることができる。 ○「めあて」「振り返ろう」が示されており、活動の見通を持つことができる。
7 その他	
総合的な評価	○学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成するうえで【適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	家庭
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂9 わたしたちの家庭科
1 取扱内容	学習指導要領に基づき、「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」に関わる学習を通して、子どもたちが主体的に学ぶ楽しさを体験し、よりよい生活を営むために工夫できる内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで構成されており、主体的・対話的で深い学びが実現できる。 ○ガイダンスとして2年間の学習の流れが示されている。 ○「住まいの音と快適さ」について考えさせる内容となっている。
3 内容の程度	○「消費・環境」の学習では、「買い物で困ったとき、どうすればいい？」が取り上げられている。 ○「ゆでいも」の調理手順において、包丁になれない児童も安心して作業ができるようにゆでた後に皮をむく手順になっている。 ○「みそしる」の調理手順において「ふっとうしそうになったらすぐに火を消す」となっており、みその香りを失わないための表記がなされている。 △「ランチョンマット」の製作において、2枚の布を縫い合わせる仕様となっており、児童にとってミシン以外の技術を多く使用しなければならない。
4 内容の構成及び配列	○「5年生と6年生の学習をつなぐ」（P78、79）「2年間の学習を中学校につなげよう」など学習のつながりが記載されており、見通しをもって取り組むことができる。 ○基礎的・基本的な学習をスモールステップで積み重ね、着実に知識・技能を身につけられる構成となっている。 ○単元の初めに学習のめあてがわかりやすい言葉で書かれており、見通しをもって学習を進めることができる。また、「できたかな」では、明確に振り返りを行うことのできる表記となっている。
5 創意工夫	○早い段階で「食物アレルギー」について記載があり、安全に調理実習を行えるよう意識づけをすることができる。 ○「防災」の観点から学びを深められるよう示されている。
6 使用上の便宜	○動画コンテンツが充実しており、教科書との併用で学びを深めることができる。 ○一つの単語が行をまたがないように調整されており、読みやすくなっている。 ○紙質にざらつきがあり、めくりやすい。
7 その他	
総合的な評価	○学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成するうえで【最も適している】。



保健

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	保健
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新編 新しい保健
1 取扱内容	○学習指導要領の目標に則り、身近な生活における健康や安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習するのに適した内容である。
2 内容の選択及び扱い	○インターネット犯罪被害に関する記述を含め、被害の未然防止に関する内容について具体的に学習できる。 ○「自然災害によるけがの防止」では、日頃の備えや自分の身を守る行動を身につけるための具体的な内容になっている。 ○「心の健康」について事例や対処が具体的に問題提起されている。
3 内容の程度	○基本的に文節改行がされており、読解段階での抵抗を軽減している。 ○「気づく・見つける」で日常的な場面を想定しやすくなっており、そこから健康や安全、発育発達などについて考えることができる。 ○中・高学年とも写真の掲載数が多く、より具体化して示すことで、子どもたちの理解を高めやすい。
4 内容の構成及び配列	○1単位時間4ページの構成で内容量、見通しの持ちやすさも適切である。また、見開き右ページに「気づく」があり、ページをめくって学習課題、活動という構成が使いやすい。 ○1時間当たりの学習の進め方である「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の4ステップ構造が載っており、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」に即した授業構成を展開しやすいよう構成されている。 ○記述式で思考、判断したことを書き込むスペースが多く、主体的に学習しやすくなっている。また、評価の点からも有効である。
5 創意工夫	○「気づく・見つける」のステップ1導入から「調べる・解決する」のステップ2の課題への流れがスムーズで、児童が日常生活から考えたことがもととなり、本時の課題へ移れて授業への関心が高くなると予想される。 ○「まとめる・生かす」で学んだことをこれからの生活に生かすために考える欄が設けられている。 ○それぞれの単元の終わりに「資料」を設け、より幅広く、またより詳しく考えスキルを身につけられるように工夫されている。 ○「はってん」マークがつけられた資料に、日常生活に関わる健康についての内容が紹介されている。
6 使用上の便宜	○各章のはじまりに、目標や他教科との関連が記載されている。 ○QRコードが豊富に用意されており、タブレットを用いた児童の内容理解を支援している。 ○カラーユニバーサルデザインの観点から配色・デザインされている。
7 その他	○個人差や自分らしさについての記載等、多様性や個人の価値観の尊重に配慮されている。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【最も適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	保健
発行者名（番号）・ 教科書名	大日本図書(4) たのしい保健
1 取扱内容	○学習指導要領に示された基礎的・基本的な知識・技能を習得でき、健康で安全な生活を営む資質や能力を育むのに適した内容である。
2 内容の選択 及び扱い	○「話し合ってみよう」などの活動で言語活動に取り組みやすい配慮がなされている。 ○「調べよう」「考えよう」では資料等をもとに、筋道を立てて考えさせる活動が効果的に取り入れられている。
3 内容の程度	○各章、小単元の内容は必要且つ十分であり、資料や知識は過多にならないよう、学年の発達段階に応じて精選している。 ○「病気の予防」の単元では、子どもたちが YES と NO の矢印で進み、個にあった学習の展開ができる内容になっており、興味関心も得やすい。
4 内容の構成 及び配列	○導入の「つかもう」で児童に身近な題材を設定し、主体的に取り組みやすい構成となっている。 ○見開き2ページを1時間の授業での扱う構成になっており、児童の見通しが立てやすい。 △「活かそう」の文章の書き込み欄が小さく、学んだことをこれからの生活に活かしていくという内容を書きにくいように感じる。
5 創意工夫	○オリンピック選手（水谷選手）やメジャーリーガー（大谷選手）についてのことが巻頭に記載されており、キャリア教育の指導に対応している。 ○SDGsに関連する内容にはマークが示され、17の目標とともに健康な生活が送れるための特集ページが用意されている。 ○「はってん」マークがつけられた資料に、身の回りの安全に関わる内容が紹介されている。
6 使用上の便宜	○単語の途中で改行されないようになっている。 ○「折り込みカード」を使用することで「つかもう」の欄以外を隠すことができる。 ○UD フォント、カラーユニバーサルデザイン等の配慮がされている。
7 その他	○日常のできごとと関連させジェンダーに触れていたり、性の多様性について触れている。 ○児童が互いに認め合い、信頼し合うことにつながる活動を取り上げている。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	保健
発行者名(番号)・教科書名	大修館書店(50) 新 小学校保健
1 取扱内容	○学習指導要領の目標に則り、保健の見方・考え方を働かせて課題を見つけ、その解決に向けた過程を学習するのに適した内容である。
2 内容の選択及び扱い	○病気は、いくつかの要因が関わり合って起こることを、図解でわかりやすく理解できるよう示されている。 ○「自然災害から身を守る」では、地震発生時の安全な行動を身につけるための学習活動の設定や、備えるための防災情報の活用を促す内容が提示されている。
3 内容の程度	○「1日の生活の仕方とけんこう」では健康に過ごすために大切なことについて、1日の生活の仕方の比較から考えられるようになっている。 ○資料「もっと学びを広げよう、深めよう」の中の「スポーツが教えてくれたもの」では、アスリートの実体験を紹介しスポーツをすることと心の発達との関係を児童が理解しやすいようになっている。
4 内容の構成及び配列	○「課題をつかむ」「活動する」「まとめる」の3つのステップで構成されており、学習の見通しを持ちやすい。 ○1時間2ページを基本構成としており、余裕を持って指導できるようにしている。
5 創意工夫	○毎時間の最後に設定されている「まとめ生かそう伝えよう」では自分の生活を見直し、自己の課題を修正できる活動が取り入れられている。 ○「体育の窓」では運動領域の学習内容をとり上げ、運動と健康との関連について学習できるように設定されている。
6 使用上の便宜	○見出しや文書の表現は、児童に無理なく理解できる簡潔で平易なものになっている。 ○ユニバーサルデザインフォント、ユニバーサルデザインの配色や色、レイアウト等を採用し、誰が見てもわかりやすいよう配慮されている。
7 その他	○性についての感じ方には個人差があること、多様性を尊重し様々な違いを認め合いながら思いやりを持って協力していく大切さについて理解できるよう配慮している。 △SDGsについての取り扱いが少なく、もう少し記載があってもよかった。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

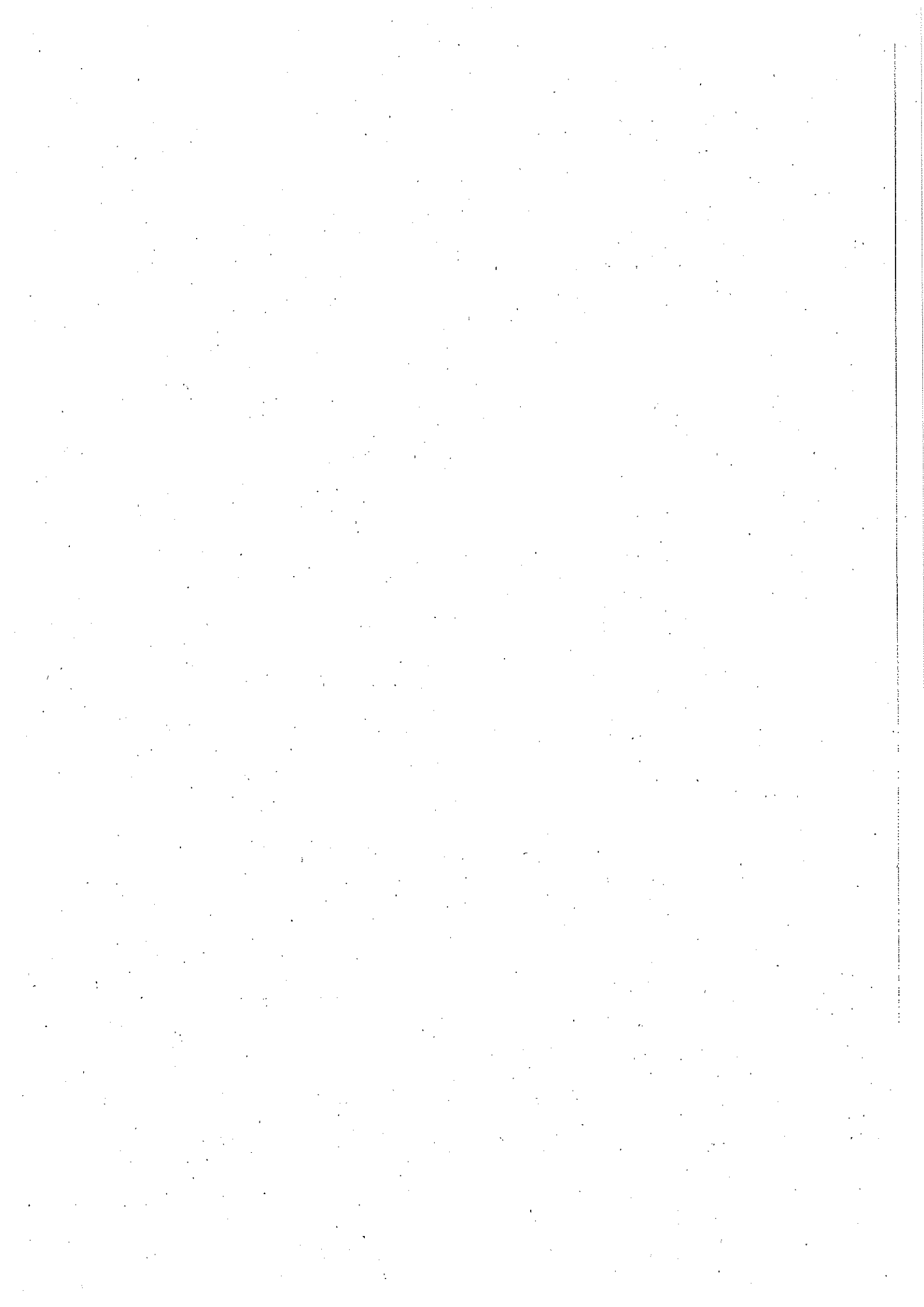
教科(科目)名	保健
発行者名(番号)・教科書名	文教社(207) 新 わたしたちの保健
1 取扱内容	○学習指導要領に基づき、健康や安全、発育・発達についての知識や技能を習得でき、健康で安全な生活を営む資質や能力を育むのに適した内容である。
2 内容の選択及び扱い	○日常生活の中にある具体的な場면을提示してあり、そこから健康や安全、発育・発達などについて考えるなど、学習活動を進める上で適切である。 ○発展的な学習内容が計画的に配置されている。 △話し合い活動についての記載が少なく、言語活動、対話的活動の学習がすすめにくいような感じがする。
3 内容の程度	○「心の健康」について、事例や対処について具体的に問題提起されている。 ○日常生活を振り返るためのチェック欄が設けられていたり、さまざまな怪我や事故についてのデータがわかりやすく示されている。
4 内容の構成及び配列	○各単元の始めに「学習のめあて」が記載され、学習の手順がわかりやすいよう配慮されている。 ○各章の終わりの「わたしの〇〇宣言」という記述欄で、これからの課題について自身の考えを促す内容になっている。
5 創意工夫	○写真やイラスト(キャラクター)を効果的に使い、見やすいよう整理されている。 ○児童のイラストからのつぶやきが多く子どもたちの日常からの疑問が取り上げられている。 ○データ、グラフ等が効果的に使われている。
6 使用上の便宜	○各章の始まりには発問が具体的に示されている。 ○「発てん」マークが付けられた資料に、日常生活に関わる健康についての内容が紹介されている。 △教科書に使用している色合いが、全体的に刺激が強く、目が疲れる印象を持った。
7 その他	○保健や運動、健康について児童の興味関心が高まるよう、「アスリートからのメッセージ」が随所に記載されている。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	保健
発行者名(番号)・教科書名	光文書院(208) 小学保健
1 取扱内容	○学習指導要領に基づき、健康や安全、発育・発達についての知識や技能を習得でき、健康で安全な生活を営む資質や能力を育むのに適した内容である。
2 内容の選択及び扱い	○日常生活の中にある具体的な場면을提示してあり、そこから健康や安全、発育・発達について考えるなど、学習活動を進める上で適切である。 ○インターネット犯罪被害に関する記述を含め、被害の未然防止に関する学習が具体的に学習できる。
3 内容の程度	○話し合いの設問や「話し合おう」という項目が多く、言語活動の向上につながるよう配慮されている。 ○学習指導要領に示された内容が所定配当時間内で指導できるよう各単元を配列している。
4 内容の構成及び配列	○学習の流れとして「自分自身の生活を振り返る」から始まり、最後の「自分の生活に生かす」まで、自分の課題として考える構成となっている。 ○巻頭には、見開きでアスリートやクリエイターなどの活躍が載っており、保健の内容の大切さを伝え、児童が興味関心を持てるよう配慮されている。その後に保健を学ぶ大切さを考えさせるページが設定されている。 △3・4年生の教科書では絵やイラストが多いものの写真の掲載が少なく、適所にもっと活用してあれば、更にわかりやすかった。
5 創意工夫	○「やってみよう」の活動を設定し、実習を通して技能の習得ができるよう工夫されている。 ○各章の資料ページ「広げよう・深めよう」で、身につけるとよい生活習慣が紹介されている。
6 使用上の便宜	○UDフォント、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色等の配慮がなされている。 ○熟語については交ぜ書きをなくすため、フリガナ付きで記述されている。
7 その他	○写真やイラストでは男女の比率やそれぞれの役割に偏りのないよう配慮しており、性別による固定的なイメージがパターン化されないよう配慮されている。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	保健
発行者名(番号) 教科書名	学研(224) 新 みんなのほけん(保健)
1 取扱内容	○学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取り扱いに基づいて、適切に内容を取り上げている。
2 内容の選択 及び扱い	○日常生活の中にある具体的な場面を提示してあり、そこから健康や安全、発育・発達などについて考えるなど、学習活動を進める上で適切である。
3 内容の程度	○「心の健康」について、事例や対処について具体的に問題提起されている。 ○各章末の「ふりかえる、伝える、つなぐ」で、自己評価し学習をふりかえりやすいよう設定されている。
4 内容の構成 及び配列	○学習始めの「課題を掴む」の後に①「自ら取り組む」②「対話活動」③「活用」という構成で、個別の学びと協働的な学びがスムーズにつながるよう設定されている ○1単位時間4ページの基本構成として見通しを持って学習できるよう配慮されている。 ○記述式で書き込むところが多く、自分の考えを書き込み、主体的に学習しやすくなっている。
5 創意工夫	○話し合いの活動が多く、言語活動、対話的活動の学習が進めやすいよう配慮されている。 ○写真の掲載数が多く、より具体化して示すことで子どもたちの理解を高めやすい。 ○各章の1ページ目の下部に学習課題が色を変えて表示されていて、わかりやすくなっている。
6 使用上の便宜	○写真やイラストを活用した導入課題で、生活や経験を具体的に振り返る場面を設けている。 ○イラストは学習内容を的確に表現し多様性に配慮している。写真は資料性が高く効果的に掲載されている。 ○「つなぐ」マークでは他教科との関連が示され、※マークでは中学校との関連が示されるなどの配慮がなされている。
7 その他	○保健に関する様々な職業を取り上げたり、地域で働く保健師のインタビューを掲載したりするなど、地域の活動に目を向ける具体的な記述がある。
総合的な評価	学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【適している】。



英語

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	外国語
発行者名(番号) 教科書名	東京書籍(2) NEW HORIZON Elementary English Course 5・6
1 取扱内容	<p>○英語を通じて他者や世界と主体的につながる心とグローバル社会を生きるために必要なコミュニケーション能力の基礎を育めるように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択 及び扱い	<p>○「自分」から「地域」「日本」「世界」に広がり「自分」に戻るという展開である。キャリア教育や国際理解の題材を配置しながら、他教科との関わりを大切にした内容で、道徳教育に関連させ、自分・人・社会・生命や自然に関わりをひろげている。特に、6年生では、SDGsを視野に入れた活動が多く取り入れられ、世界共通の課題が扱われている。</p> <p>○題材について、5年では、自分のこと(名前、好み、誕生日、ほしいもの)、地域のこと(身近な人、道案内)、日本の紹介(すてきな場所、あこがれの人)、6年では、世界の国や生活(好きなものや宝物、日常生活、週末にしたこと)、世界と地球(行きたい国、世界とのつながり、生き物のためにできること)、思い出と夢(小学校生活の思い出、中学校生活や将来の夢)が扱われている。</p>
3 内容の程度	<p>○Starting Outでは、聞き取りのポイントが示されていて分かりやすい。</p> <p>△各活動での手立てとして書くことが多く設けられているが、多すぎて、時間配分が難しい。</p>
4 内容の構成 及び配列	<p>○5年で扱っていた言語材料を6年生に移行し適切な単元構成になっている。</p> <p>○1単元6時間構成で、それぞれに発展的な内容(2時間)を加えて構成されている。進度のめやすがつけやすい。</p> <p>○各Unitが①音と映像で重要表現に出会う(場面把握)→②ペア・グループワークで重要表現に慣れる→③学習した語や表現を使う、楽しむ→④学んだ英語をもとに他教科の知識と融合を図りながら視野を広げるといった段階的に指導できる構成になっており、学習指導を進める上で適切である。また、見通しをもって単元の学習を行うために、自分の伝えたいことを考える「Your Plan」が新設されスモールステップの単元構成を実現している</p> <p>○2学年のテーマが緩やかにつながり言語材料を系統的に繰り返す配列になっていることから、複式学級で取り扱う場合にも指導しやすい。</p>
5 創意工夫	<p>○Picture Dictionaryは別冊になっていて使いやすいが、保管するのに不便である。</p> <p>○特別支援な支援を要する児童への指導についての配慮があり、4線や書体が工夫されていて、文字に抵抗のある児童にも取り組みやすい。</p> <p>○ページ下側にSmall Talk, Sounds and Letters, My Picture Dictionary</p>

	<p>との表示があり、各内容に応じた活動が展開しやすくなっている。また、「Plus!」マークが新たに付けられたことで重要度を区別でき、メリハリのある授業を行うことができる。</p> <p>○アルファベットの練習では、どの位置から書き出すか、また、文字同士のちがいに気を付けて書けるよう、字形の似たものや手の動かし方などによってグループ分けされており、アルファベットの特徴をとらえやすく字形をイメージした練習ができるように考えられている。</p>
6 使用上の便宜	<p>○上部にその時間のめあて、下部に Small Talk などのメモがあり、活動内容や1時間の学習のめあてが把握しやすい。ワーク時に教師が Small Talk をしっかりと行い表現力をつけることが重要と思われる。</p> <p>○内容によって文字の大きさ、太さが工夫されており、見やすく適当である。</p> <p>△書く場面では、4線どうしの間隔が狭くて分かりにくい。</p>
7 その他	
総合的な評価	<p>○学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	外国語
発行者名(番号)・教科書名	開隆堂(9) Junior Sunshine 5・6
1 取扱内容	<p>○外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養うことができるように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○協働的な活動が数多く設定されており、児童どうしが教え合い学び合う中で生きたコミュニケーション活動が行えるよう配慮している。</p> <p>○児童の日常生活に密着した題材や他教科に関連した活動が組み込まれている。</p> <p>○5年生では、名刺、誕生日、時間割、プロフィールカード、道案内、人物紹介、ランチメニュー、町の紹介といった内容が扱われている。</p> <p>○6年生では、自己紹介、日本の紹介、自分の一日、夏休みの思い出、世界の衣食住、小学校の思い出、将来の夢、中学校でしたいこと等の内容が扱われている。</p> <p>○実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に配置されている。</p> <p>○多文化理解、自国の自然・文化、多彩な職業、今日的な話題、プログラミング、他教科と関連した題材が取り上げられている。</p>
3 内容の程度	<p>○「話すこと」の(やりとり)と(発表)の区別がわかりやすく表示されている。</p> <p>○「読むこと」「書くこと」の基礎を養えるように系統的に学習できるコーナーや題材に深く関連した内容を「読み」「書き」できる活動が配置されている。</p> <p>○新出の英語表現は使う必然性を持たせ、児童がやりとりしたいと思える活動を通して、無理なく身につけられるように配慮している。</p> <p>○「読むこと」いたるところに文字と音声を結び付ける工夫がある。</p> <p>△内容が盛りだくさんで、難しい印象を受ける。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○題材の配列は児童の学校生活カレンダーに合うように配置されており、児童の興味・関心に沿った学習を展開することができるように配慮されている。</p> <p>○すべての課の冒頭に、その課の出口を見通せるリスニング活動を配置されている。</p> <p>○各課で友だちどうしが話し合えるようにペアワークやグループワークが設けられている。</p> <p>○配当時間1時間につき1ページ構成を基本とし、各単元において単語の習得から表現の習得へと、易から難への配列がなされており、無理なくコミュニケーションで活用できる技能を身に付けられるように配慮されている。</p>

	<p>る。</p> <p>○高学年で初めて学習する「読み・書き」について、教科書後半に独立して段階的・体系的にまとめられている。</p>
5 創意工夫	<p>○児童自身で学習をふりかえり、主体的、自律的に学習に取り組めるように各課の学習が終わるごとに「ふりかえり」の欄が設けてある。</p> <p>○文字学習のページが後ろにまとめられている。</p> <p>○活動のイメージが湧くような図版・写真が多用されていて、児童が理解できるように工夫されている。</p> <p>○各レッスンでレッスンの目標や学習の進め方について工夫がある。</p> <p>○子どもたちになじみのある人物の写真やイラストをたくさんつかっているため、興味をひきやすい。</p> <p>△写真が小さめで、文字が多い印象を受ける。</p> <p>△様々なタッチの登場人物のイラストが多くあり分かりにくい。</p>
6 使用上の便宜	<p>○識別しづらい色遣いが避けられていて、文字の大きさも読みやすい。児童の記入欄に罫線が用いられている。</p> <p>○手書きの文字に近い書体が使われている。</p> <p>○4線が黒の点線と青の実線で見やすく、書きやすい用紙が使用されている。</p> <p>△教科書の中にアルファベットの練習欄（5年P112～115）があるが、形を整えるためのドットが多くて、かえって書きにくい。</p> <p>△ワードブックは使いやすいが別冊になっているため、保管するのに不便な面がある。</p>
7 その他	<p>○音とつづりの関係やフォニックスの初歩的な指導が配置されている。</p>
総合的な評価	<p>学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	外国語
発行者名(番号)・教科書名	三省堂(15) CROWN Jr. 5・6
1 取扱内容	<p>○英語教育を通して確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と豊かな人間性を育成できるよう配慮している。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○5、6年共に「学校」「家庭」「地域」の場面設定で、楽しく学ぶをキーワードにしている。「日本紹介」「キャリア教育」「世界」について学べる題材がある。</p> <p>○他教科での学びを生かす、また深める題材や今日的な課題であるSDGsへの理解を深める題材もある。</p> <p>○内容については5年で自己紹介、身近な人の紹介、一日の生活、日本や世界の紹介、位置や場所を扱う。6年では、学校紹介、身近な人の紹介、行事や文化、思い出、物の様子や特徴、将来の夢・職業、日本の文化・他国の文化を扱う。</p>
3 内容の程度	<p>○「話すこと(発表)」について、どのような段階を踏んで発表していくかなどが、段階を追って、詳しく説明されている。</p> <p>△自主的な活動を促す目的はわかるが、自分で課題を見つけ、目標を立てるのは、児童にとってかなり高度ではないか。</p> <p>○言語活動は目的や場面、状況などが明確であり、言語材料は、文構造や語彙が適切に選択されている。</p> <p>○「読むこと」ABC Fun Box というページを設定して文字と音声を結び付けられるような工夫がある。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○聴く・話すと話す・書くの構造になっていて既出表現に何度も触れ、繰り返すことで習熟をはかることができる構成になっている。</p> <p>○各学期ごとにホップ、ステップ、ジャンプの大単元がある。まず練習なしで課題に取り組み、目標を立てる。チャンツやリスニングで内容を理解したのち、コミュニケーション活動を行う。自主的な活動を促す構成となっている。</p>
5 創意工夫	<p>○My Dictionary がついている。</p> <p>○Story Time では、読むこと聞くことをそれぞれ中心に据えた読み物が用意されている。</p> <p>○2ページ続きの「パノラマ」とされるイラストが各単元にあり、英語の世界に関心を持たせるとともに、スモールトーク、言語材料、ゲームなどの活動に使用しやすい。</p> <p>○4線の間隔が見やすく、書き出しが薄字になっているものもある。</p>

6 使用上の便宜	<p>○イラストや図などの情報は、色の濃淡に配慮し、それぞれのパーツが明確に識別できるようになっている。</p> <p>○QRコードが奇数ページの右上に固定されていて使いやすい。</p> <p>○アルファベットカードの字体は見やすい。</p> <p>○ルビをふってある感じが多い。</p> <p>△紙面はすっきりしているが、写真や絵が小さくて見にくいものもある。</p> <p>△登場人物のイラストのタッチが2種類あり、同一人物と捉えにくい。</p>
7 その他	<p>○取り上げる題材は、身の回りの生活に関する事柄のほか日本の伝統文化および他国の文化、動物や自然、将来の職業など幅広く児童の知的欲求に合致するものが選択されている。</p> <p>△stepでは自主的な活動を行う中で英語力をつけていくことができ、児童が興味深く主体的に学ぶことができる。しかし、基本のフレーズが提示されていないなど分かりにくい部分も多い。</p>
総合的な評価	<p>学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	外国語
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) ONE WORLD Smiles 5・6
1 取扱内容	<p>○言語や文化について幅広い知識と教養を身に付け、創造性を培い、自主自律の精神を養うとともに、勤労を重んじる態度や社会形成に参画する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○5・6年共に映像を見て、やさしい活動から入り、振り返りまでとなっている。気づきと関わり合いに重点に置いている。</p> <p>○5年では、自己紹介、誕生日、時間割、一日の過ごし方、できること、行ってみたい都道府県、料理、道案内、人物紹介を扱っている。6年では、自己紹介、町の紹介、日本の文化、夏休みの思い出、行きたい国、小学校の思い出、将来の夢、憧れの中学校生活を扱っている。</p> <p>○実際の使用に即した場面設定、興味を喚起する話題、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に配置されている。</p>
3 内容の程度	<p>○「話すこと(やりとり)」については、必然性のある場面設定がされているとなっている。ダイアログの形がイラストなどでうまく表されており、やりとりの練習がしやすい。</p> <p>○「話すこと(発表)」について、どのような段階を踏んで発表していくかなどが、段階を追って、詳しく説明されている。</p> <p>○児童が自ら考え、楽しみながら自己表現に取り組める単元目標や楽しい活動が行えるように配慮している。</p> <p>△示されているゴールが漠然としていて分かりにくい。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○インプット活動から入り、聞いたり話したりする活動、読んだりする活動を経て目標活動を行えるように配置されている。</p> <p>○単元末には、英語の音声と文字の関係を学習するコーナーと復習と振り返りのコーナーが設置されていて、学習の見通しをもちながら進め、最後には自己評価を記入し、単元ごとに自分の達成度を確認することができるように配置されている。</p> <p>○各レッスンの基本的な構成は聞くことを中心としたインプットから入り、①映像を見ながら音声を聞いて内容をとらえる→②歌やチャンツ等で口慣らしする→③聞く活動→④基本的なやりとり→⑤読んだり書いたりする練習→⑥発表ややりとり と、言語活動が適切な流れで設定されており適切である。</p> <p>△9つのLessonで構成されており、内容が多い。</p>
5 創意工夫	<p>○指示や活動が短い言葉で書かれていて、子どもたちは取り組みやすい。</p> <p>○カラフルでわかりやすい誌面で、内容を聞き取りながら誌面にシールを貼っていく活動もあり、児童が意欲的に取り組める。</p> <p>○名所・名物マップにより、自分の国の文化等を英語で発信したいという英語を使う必然性を持たせる工夫がある。</p>

	<p>○各単元の終わりに、日本語と英語との違いやアルファベットの音の気づきを促す活動を設定している。</p> <p>○4線の間隔が5:6:5になっていて、大文字も小文字も書きやすい。</p> <p>○各レッスンでレッスンの目標や学習の進め方について工夫がある。子どもたちになじみのある人物の写真やイラストをたくさんつけているため、興味をひきやすい。</p>
6 使用上の便宜	<p>○文字の大きさ、余白スペースが適度であり見やすい。</p> <p>○巻末に My word Bank, 単語カード, シール, ワークシート等が付いている。</p> <p>○資質・能力の3つの観点でバランスよく育成できるよう様々な言語活動が盛り込まれ、当該のレッスンが終わる時点で自己評価できるようになっている。</p> <p>△ワークシートがついているのはいいが、別冊の方がよい。</p> <p>△巻末に My Word Bank のコーナーがあるが、Picture Dictionary がないので不便である。</p>
7 その他	<p>○各教科、キャリア教育、道徳や保健衛生、SDGs や環境保護などの観点を含む内容が配置されている。</p>
総合的な評価	<p>○学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

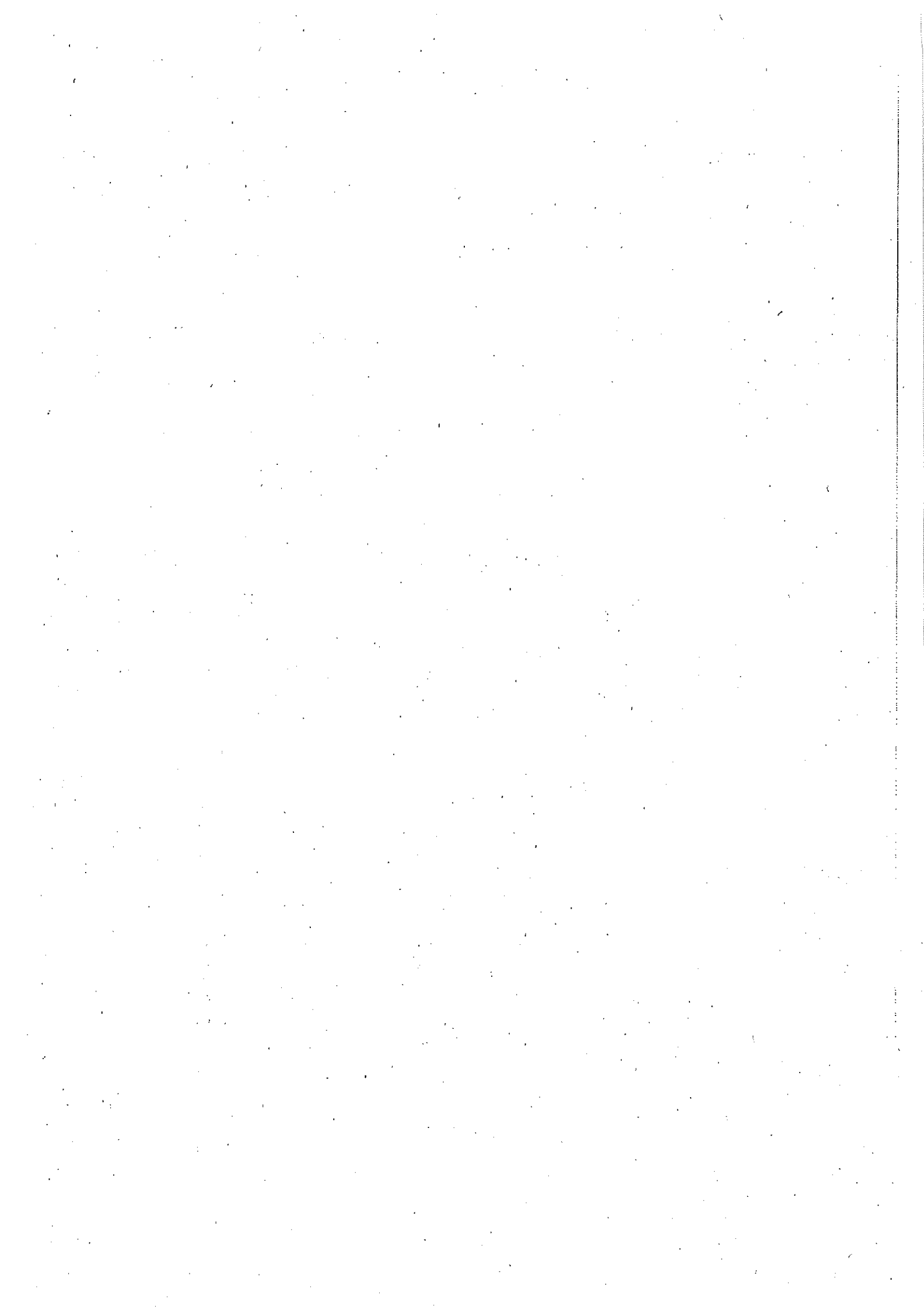
教科(科目)名	外国語
発行者名(番号)・教科書名	光村図書(38) Here We Go! 5・6
1 取扱内容	<p>○言語・文化・価値観の異なる多様な人々と気持ちや考えを伝え合い、主体的に課題に向き合い、協力して平和な世界を築こうとする開かれた心をもつ人を育てることに配慮している。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○相手の反応を意識した心が育つための言葉などが記載されている。</p> <p>○英語のストーリーを通して、違いを認めて尊重し合うことを実感できる。</p> <p>○世界12か国で実際に生活する小学生のメッセージを音声と映像で紹介し、多様な文化や価値観に触れられ、一貫したストーリーになっている。</p> <p>○5年では、自己紹介、誕生日、欲しい物、時間割、できる・できない、あこがれの人、料理の注文、道案内、地域の紹介の内容が扱われている。6年では、自己紹介、日本の紹介、ふだんの生活、夏休みの思い出、動物の気持ちを伝える、世界の国々、将来の夢、小学校生活の思い出の内容が扱われている。</p> <p>○5、6年ともに他教科との関わりを大切にしている内容になっている。また、内容に即して異文化理解や環境に目を向けさせるなどの工夫がある。</p>
3 内容の程度	<p>○内容は児童の発達段階に適している。</p> <p>○中学年からの接続を円滑にするためにLet's Startのページを設け、短時間で効率よく学習できるように配慮されている。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○各ユニットの導入ページから授業の流れを順に整理して配置され、最終目標に向かって段階的にどんな活動をしていくか見通しをもちやすい。</p> <p>○聞く活動から徐々に口慣らし、コミュニケーション活動、書く活動へ進む形で進んでいる。一時間ごとに表現を分けて無理のない内容になっている。</p> <p>○全課にオリジナルチャンツがあり、学習する基本表現を楽しく練習できるように配置されている。</p> <p>○読み書きの学習のために音と文字の学習をスモールステップで提示されている。</p> <p>○Unitとそれらを支える教材を関連させながらスパイラル式に学習を進めるよう構成されている。</p> <p>○聞く話す活動を経て徐々に読む書く活動へと無理のないスモールステップで進めるように配慮されている</p> <p>○各Unitの始めのページにめあて(GOAL)が明記され、それに至る時間ごとの学習のめあてが把握しやすい。</p> <p>○各学期にReview「世界の友達」として、学んだ表現を使った英文で外国の様子が紹介されている。</p>

	<p>○書く分量が適切である。</p> <p>○テーマごとに各領域について最低 1 回以上は評価の場面を設定し、5つの領域のバランスのとれた指導を評価できる設定となっている。</p> <p>○パフォーマンス評価のできる設定がある。</p> <p>○Alphabet Time があり、アルファベットの読み書きに慣れ、音と文字の関係に気づくことができる。</p>
5 創意工夫	<p>○Unit4 以降の Sound and Letters がアルファベットの音にふれられていてよい。</p> <p>○「大文字から小文字への変化」等、文字の書かせ方についての工夫が多く、字体も適切である。</p> <p>○5 領域についての can do リストが初めにあり、学びへの見通しが持てる。</p> <p>○学びを広げられるように巻末資料や付録 (All About Me、ペンマンシップ等) が掲載されていて、学びの足跡となり、自己紹介にも使える。</p> <p>○5 年・6 年とも、児童が英語を学んでいくにあたり、3・4 年で学んだことや大切にしたい態度やクラスルームイングリッシュについてはじめの部分に丁寧に分かりやすく書かれている。</p> <p>○単語や文の書き方にも触れており、これからの学びにつながる。</p> <p>○学年ごとに Picture Dictionary があり、さまざまな語彙に触れられる。また、別冊になっているが巻末に挟み込む形になっており便利である。</p> <p>○Small Talk のきっかけになるミニアニメが設定され、自然な展開につながられる。</p> <p>○Unit のゴールには、既習表現を思い出すための Phrase Hunt が設けられ、クラス全体で共有する協動的学びが実現できる。</p> <p>○「いつもたいせつ」のページをいつも見ながら学べる工夫がある。</p>
6 使用上の便宜	<p>○イラストや写真の色がはっきりしていて見やすく、大きさも適当である。</p> <p>○QRコードの位置が右ページの右上に統一されており、利用しやすい。</p> <p>○各ユニットの終わりに自己評価の項目が書かれており、工夫したことや次に生かしたいことを書き込めるようになっている。</p>
7 その他	<p>○名前の表記の仕方の違いなど、文化の違い等によって出てくる疑問について、解説されているのがよい。</p> <p>○日本の伝統文化、自分の郷土の良さ、世界 12 か国の子どもたちの生活の様子、世界で活躍する日本人が題材として取り上げられている。</p> <p>○友達と伝え合う喜びや協力し合う態度を養うよう配慮している。</p> <p>○5 年 P 8 8 のように、言葉について考えるページがあり、言語の大切さに触れることができる。</p> <p>○他教科・キャリア教育・防災教育・SDGs 等にも対応しており、視野を広げることができる。</p>
総合的な評価	<p>○学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【最も適している】。</p>

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	外国語
発行者名(番号)・教科書名	啓林館(61) Blue Sky elementary 56
1 取扱内容	<p>○多様化していく社会の中で様々な人々と協働しながら、持続可能な社会の担い手となる児童に必要な資質・能力を育むよう配慮されている。</p> <p>○学習指導要領に基づき、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やりとり・発表)」「書くこと」の育成のための言語材料を通して、日本語との違いに気づくこと、外国語への慣れ、親しみ、実際のコミュニケーションで活用できるような、基礎的な技能を身につけることができるようになるために適した内容である。</p>
2 内容の選択及び扱い	<p>○日本と異なる外国の文化に触れ、固定概念にとらわれない柔軟な考え方や人への接し方を身に付ける</p> <p>○5年では、自己紹介、教科・時間割、誕生日、1日の生活、できること、人物紹介、料理・金額、位置・場所、行きたい国を扱っている。6年では、自己紹介、日本の紹介、町・地域、体験したこと、あこがれの人。小学校の思い出、将来の夢・職業、中学校生活・部活動を扱っている。</p>
3 内容の程度	<p>○「話すこと(やりとり)」については、コミュニケーションの中でお願いやその答えのやりとりができる。</p> <p>○「話すこと(発表)」について、日常生活に関することについて、学んだことが使用できる。</p>
4 内容の構成及び配列	<p>○学期末に Review を設定し、それまでの学習した表現の復習と活用ができるよう配慮している。</p> <p>○Look Back では学習した内容をふりかえり、知識技能の定着を図ることができるように配置されている。</p> <p>○Activity では、学んだ英語を実際を使って表現する力の基礎を養えるような内容になっている。</p> <p>○活動を表すタイトルごとに4技能5領域を表すマークが付けられており、バランスに配慮されている。</p> <p>○各 Unit は簡単な表現を聞くことから緩やかに話す活動、そして、6年では、聞いたり話したりした短い文を書き写すところまで積み上げていく構成である。</p>
5 創意工夫	<p>○自分で達成度を確認するチェック欄がある。また、学期末にレビューを設け学習の振り返りができる。</p> <p>○外国の文化や習慣など紹介しているコーナーが設けられている。</p> <p>○各 Unit に目標(GOAL)を明記し、その目標に向けたスモールステップのめあてを各 Part に設けてある。</p> <p>○Can do リストが巻末にある。</p>
6 使用上の便宜	<p>○行間にゆとりがあり、文章が読みやすい構成になっている</p> <p>○各ページに目当てが明記され、1時間の学習のめあてが把握しやすい。授業内容の計画が立てやすいと思われる。</p> <p>△QRコードが偶数ページの折り目近くにも配置されており、使いづらい。</p>

7 その他	<p>○挿絵、写真の大きさが他社より小さめで画一的であるがまとまった配置である。</p> <p>△各 Unit のタイトルの文字の書体がデザイン的で見にくい。</p> <p>△吹き出しの中の文字が小さすぎる。</p> <p>△Word List の文字が 4 線に書かれていないので分かりにくい。</p> <p>△5 年 P63 で「とくちょう」として挙げられている言葉は不適切ではないか。</p>
総合的な評価	<p>学習指導要領に基づき、教科の目標とする能力や態度を育成する上で、【やや適している】。</p>



道德

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	東京書籍(2) 新しい道徳
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値に根差した問題を見つけ、対話を通じて多面的・多角的に考える上で、効果的な内容となっている。 ・自己の生き方についての考えを深めるために、児童が課題意識を持ち、自らを振り返り、自己を見つめることができるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物教材に加え、写真や挿絵などから考える教材や、漫画を活用した教材など、多様な形式の教材が掲載されており、提示方法を工夫して児童の学習意欲を喚起することができる。 ・全ての学年に、問題解決的な学習と、役割演技や動作化など道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材が掲載されており、多様な学習方法を取り入れることができる。 ・パズル、学校新聞、絵手紙など、さまざまな素材を取り上げた活動の中で、議論を促し、児童の多様な考えを引き出す教材が取り入れられている。 ・「いじめ」ユニットでは、いじめの場面を直接的に扱う教材と、関係する価値から間接的に考える教材、コラム「つながる・広がる」を組み合わせ、多面的・多角的にいじめの防止について考えられるように工夫されている。 ・いじめ、いのち、自己肯定感、情報モラル、防災・安全と、現代的な課題に対応した教材が「5つのユニット」として各学年で取り上げられている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が先入観を持たずに自己と向き合い、考え、議論することができるよう、教材の冒頭は情報量を抑え、シンプルに構成されている。 ・絵や写真を使い道徳科の授業を楽しむ低学年、身近な教材文で価値の理解を深める中学年、多様な資料から自分の生き方について考える高学年と、6年間を通して道徳性を養うことができるよう、教材の内容や形式が選択されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭の「どんな学びをするのかな」では、「気づく」→「考える」→「広げる・深める」という学習手順がわかりやすく示され、その手順に沿って考え、議論を進める道徳の学習を進められる構成になっている。 ・多様な考えを阻害しかねない記述は削除し、価値を押し付けず、「考え議論する道徳」ができるよう構成されている。 ・教材末の「考えよう」では、自己を見つめる発問と、道徳的価値に迫る中心発問のみが掲載されている。 ・教材末に、道徳科の授業で考えたことと他教科や日常生活とのつながりを示唆する「つながる・広がる」が設定されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年巻末の「考えるためのツール」には、話し合い活動を促すツールが例示されたり、4年生以降には「心情円」がついていたり、児童が自らの考えを可視化できるようなツールが充実している。 ・各学年巻末に、心に残った教材や、これからの生活に生かしたことを書くことができる「学習の記録」が設けられており、児童の成長がわかるように工夫されている。 ・全学年を通して、挿絵や写真等の視覚的な資料が大きく掲載されており、児童が興味・関心をもったり、学習の理解を助けたりする工夫がされている。 ・教材や挿絵、写真に登場する人物について、性別による偏りがないよう配慮されている。 ・ICT機器を活用した学習活動の充実が図れるよう、朗読、スライドショー、デジタルノート等のデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが1年生の入門期を除く全ての教材に配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・書体はユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されており、学年に応じて文字の大きさ、行間を調整するなど、読みやすさを配慮している。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながる・広がる」が設けられ、国語や社会、生活科など、他教科との関連を図ったり、生活に広げて考えたりすることができる資料が配置されている。 ・巻末に教材一覧表が掲示され、主題名や他教科との関連、関係するテーマには現代的な諸課題との関わりがまとめられている。
総合的な評価	【適している】

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	教育出版(17) 小学道徳 はばたこう明日へ
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的・多角的に考えたり、体験的な学習を進めたりする上で、適切かつ効果的な内容となっている。 ・現代的な課題について考え議論することを通して、人には多様な価値観があることを認識し、互いに尊重し合う態度を養うことのできる内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材が、学習指導要領の四つの視点のどこに該当するかが、色や図柄で示されており、学習の視点がわかりやすくなっている。また、教材の冒頭には「導入」が、教材末には「考えよう」「深めよう」「つなげよう」が設けられ、思考を促し、考えを引き出す構成となっている。 ・異なる立場からの考えを取り上げた教材や、登場人物が悩みや葛藤、心の揺れを感じながら終わる教材など問題解決的な学習に適した教材が多く掲載されている。 ・「道徳的行為に関する体験的な学習」に適した教材には、教材末に「やってみよう」が設定されており、役割演技や日常体験を想起して話し合う活動が取り入れられており、道徳的価値の理解を、生活の中での行為や習慣に結び付けていくことができるように配慮されている。また、体験をとおして人としての行動について考えを深める「モラルスキルトレーニング」が全学年に取り入れられ、体験を通して道徳的な習慣や行動が身に付けられるよう工夫されている。 ・全学年を通して、「いじめをなくす」や「情報モラルを考える」ことを重点テーマとして位置づけ、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えることのできる「教材とコラム」をユニット化して配置している。 ・歴史や文化、スポーツなど、さまざまな分野で活躍した先人や現在活躍する人物の生き方にふれることのできる教材が充実している。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、児童が無理なく学習できるよう、児童の発達段階に即した内容の教材が配列されており、考え、議論する授業が実践できるよう配慮されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の道徳教育の要として、他教科や特別活動、学校行事などとの関連を考慮したものとなっており、学習計画がたてやすい教材配列となっている。 ・児童の成長を見取るため、教材は内容項目ごとにまとめず、学習時期を考えて適切に配置されている。 ・6年間を通して、いじめや差別をさまざまな側面から考え、深めていけるよう複数の教材が各学年に配置されており、児童がいじめや差別を自分のこととして捉え、考えていくことができる。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭には、「道徳ではこんな学び方をするよ」が、巻末には「学習を振り返ろう」が設けられており、話し合ったり書いたりすることで、自分自身を見つめ、今後の課題や目標を見出せるように工夫されている。 ・学習の案内をするキャラクター「マナビィ」を登場させ、問いかけることで、児童が道徳的価値を意識して学習に臨めるよう工夫されている。 ・登場人物が、はっと気付いたり、判断を迫られる姿で終わったりする教材が多く掲載されており、児童が登場人物の悩みや葛藤、心の揺れに対する多様な考えを持つことができるよう工夫されている。 ・効果的に学習が進められるよう、教材の開設や関連図書の紹介等のサイトにアクセスできる二次元コードが教材冒頭と教材末に配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階を考慮して、難解な言葉については、内容理解のために脚注を加え、解説を加えている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教材内容の理解を助けるために、挿絵や写真・図が適所に配置されている。
総合的な評価	【適している】

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	光村図書出版(38) 道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対話を重視した学習活動を通して、他者と共に多面的・多角的な見方で道徳的価値を考える上で適切かつ効果的な内容となっている。 ・「生命の尊さ」に力点を置き、児童が「命」の大切さを考え、継続的に自らを大切にすることを考えられるように意図した内容となっている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・等身大の児童が登場する読み物、伝記等で知られる先人の生き方や、現在活躍する人物の子ども頃の葛藤など、児童の心を捉える教材がバランスよく配置されている。 ・「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」、「心を通わそう」、「『考える』準備たいそう」と、1年間の発達の段階を意識し、段階を追って協働的な学びに欠かせない対話する力を育む教材が配置されている。 ・学年ごとにテーマを設けて、作者が児童に問いかけて考えるページ「なんだろう なんだろう」が取り入れられている。 ・「いじめ問題」「情報モラル」などの現代的な課題が取り上げられており、児童が自分自身に引き寄せながら、興味・関心をもって学ぶことのできる教材が配置されている。 ・全学年を通して、「いじめ問題」に結びつく教材とコラムを組み合わせた「ユニット」が設定されており、いじめをしない、させない、見過ごさない力が系統的に育成されるように工夫されている。 ・全学年を通して、情報モラルに関わる教材とコラムを組み合わせた「ユニット」として取り上げられ、深く考えることができるよう工夫されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や特性を考慮して、それぞれの学年にふさわしい教材設定となっている。 ・本文の理解を助ける脚注や挿絵を配し、読みの負担を軽減し、児童が多面的・多角的に「考え、議論する」ことが学習の中心となるよう配慮されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の実態と、児童の一年間の成長を考慮して、年間を三つのまとまりに分けて構成されており、活用しやすくなっている。 ・教材は、基本「導入→教材→学習の手引き」で構成されており、一時間の授業のイメージがしやすいものとなっている。教材の読み取りに偏ることなく、「考え、議論する」ことを学習の中心に据え、登場人物の自我関与、課題解決的な学習、体験的な学習が可能となるよう構成されている。 ・全学年を通して、命を大切にすることの育成に重点を置き、生命の尊さに関する教材が、各学期一か所ずつ位置付けられている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の案内をするキャラクター「こころん」が登場させることで、児童の日常と教材をつなげ、児童が今後の課題や目標をもてるよう工夫されている。 ・全学年を通して、教材末の学習の手引きには、「考えよう・話し合おう」が設けられており、教材を通して学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決したりするために「話し合う」ことを意図した発問が設定されている。 ・第2学年以上の教材末の学習のてびきには、「つなげよう」が設けられており、他教科で学習する内容との関連づけ、特別活動や学校行事との関連づけ、関連する内容の図書の紹介などが示されている。 ・巻末に児童が自己評価の記録を残す「学びの記録」が設けられており、自身の変化や成長を振り返ることができるように工夫されている。 ・授業や家庭学習で活用できるよう、教材に関連した朗読や写真、動画等のデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや配置、写真や絵の色使いや配置の他、ユニバーサルデザインの観点からも、児童が学習に支障をきたすことがないように、十分な配慮がなされている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末にこの教科書が目ざした学年の児童の姿が掲示され、他教科・領域との関わりや現代的な諸課題との関わりがまとめられている。
総合的な評価	【やや適している】

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	日本文教出版(116) 小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、問題解決的な学習や体験的な学習を進める上で適切かつ効果的な内容となっている。 ・児童の発達段階をふまえ、家庭、学校、社会の幅広い分野のものがバランスよく取り入れられている。特に、生命の尊重、自他の敬愛、郷土愛、国際理解など、現代的な課題への対応について学ぶことに重点が置かれている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・内容項目を児童向けのわかりやすい言葉で示し、「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」と導入から展開後段まで、児童の思考の流れに沿った発問が設定され、児童の自発的な思考を引き出す配慮がなされている。 ・人権尊重の視点から、多様性を尊重し、あらゆる差別や偏見をなくし、公正で公平な社会の実現に積極的に努めようとする心を育て、人との関わりの大切さについて考えられる教材が配置されている。 ・年3回いじめを直接的・間接的に扱った教材といじめ防止コラムを組み合わせた「いじめ防止ユニット」設け、集中的にいじめを多様な観点から考えることができるよう、工夫されている。 ・他教科と関連付けた「心のベンチ」を設け、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えることができるよう、配慮されている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階を考慮した内容であり、1年間及び6年間を通した系統性が配慮されている。特に1年生では「保・幼・小」の連携に配慮し、「スタートカリキュラム」を意識した内容となっている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・他教科等との関連をはかるだけでなく、他教科等の学習活動そのものを素材とした教材が掲載されており、学校教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を踏まえた構成となっている。 ・各教材の冒頭に、「導入のための発問例」、教材のねらいに迫るための発問「考えてみよう」、学習を通して学んだこと、わかったことを自発的に確かめ、今後の自身の生き方に生かしていくための発問例「みつめよう・生かそう」が示され、児童が主体的に学習できるように工夫されている。 ・各学年とも主教材の他に3~4教材が収められ、主教材の代替や補充教材として活用できるようになっている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の学び方」のページに学習方法が解説され、学習の支援になるように配慮されている。「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」の学習の流れが示され、特に「考える・深める」では、話し合い活動の様子が写真で具体的に提示されるとともに、掲載の「教科書 QR コンテンツ」から詳しい具体例を示した動画が視聴でき、「考える道徳」「議論する道徳」が視覚的に捉えられるよう工夫されている。 ・「ぐっと深める」が設定され、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いた効果的な展開の様子が示され、多様な実践活動を生かしながら学ぶことができるよう工夫されている。 ・児童の学習への興味・関心を高められるよう、教材に関連した画像や動画等にアクセスできる二次元コードが全教材に配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊「新道徳ノート」は、自由記述のため、授業展開に応じた活用ができ、思いや考えを自分の言葉やイメージで整理できるようになっている。また、学期ごとに保護者記入欄が設けられており、家庭との連携を図ることができる。さらに、二次元コードから、デジタルでの対応が可能で、発達段階に応じて活用することで、意見の交流がスムーズにできるよう工夫されている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙には、生き生きと学習したり学校生活を送ったりする児童の姿を写真に掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ・巻末に学習内容一覧が掲示され、主題名や他教科との関連、テーマの欄には現代的な諸課題との関わりがわかりやすくまとめられている。
総合的な評価	【最も適している】

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	光文書院(208) 小学道徳 ゆたかな心
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳性を養う意義を考えたり、目的意識をもって主体的に学習を進めたりする上で、適正かつ効果的な内容となっている。 ・道徳科が学校の教育活動全体としての要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的に取り扱えるよう配慮されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」等の現代的な課題を題材とした教材は、発達段階を考慮しながら全学年に掲載されている。 ・情報化の対応として、「規則の尊重」「善悪の判断、自律、自由と責任」「相互理解、寛容」「節度、節制」といった各内容項目の教材において情報モラルに関わる内容を題材として扱い、情報社会で適正な活動を行うためのもととなる考え方や態度について考えられるようにしている。 ・いじめ問題については、直接的・間接的にいじめについて自分自身の問題として捉えられるような教材が取り上げられている。また「いじめを生まない心」が発達段階に応じて設定され、自らいじめの防止等に主体的に関わる態度を育むことができるように配慮されている。また、へこんでも立ち直る力(レジリエンス)についての教材が取り上げられている。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の内容がわかりやすく、かつ考える時間を十分にとれるよう、発達段階に応じて学年ごとの教材の文章量が配慮されている。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の冒頭に「導入」末尾に「考えよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設置し、1時間の授業の目的や流れを明確にしている。 ・学校や地域の実態に応じて弾力的に取り扱えるように、第1年生は六本、第2～6年生は五本の選択教材が用意されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「話し合ってみよう」では、話し合い活動にの方法を掲載し、その重要性や目的を示している。また「道徳ノート」の例を挙げ、書いてまとめることによって理解を深めたり整理したりできることを提示している。 ・鳥のアイコンを設定し、考えるためのポイントなど教材に入りこむための「問いかけ」が提示されている。 ・コラム「みんなでやってみよう!」を全学年に設置し、よりよい人間関係の構築のために必要なコミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動が提示されている。 ・終末の「まとめよう」では、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」や今後の課題について考えられるよう工夫されている。 ・学習の発展「ひろげよう」では、道徳の時間に学んだことを他教科や学校での活動、家庭生活、地域社会などへとつながりをもたせ広げていくためのポイントが提示されている。 ・巻末に自己評価シート「学びの足あと」が設けられ、記述を重ねることで、授業後の心の動きや学びを継続し、自らの変化や成長を実感できるよう、工夫されている。 ・教材理解をサポートする写真や登場する人物のメッセージ動画等のコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の紹介、難語句について脚注の説明など、全ての児童が使いやすいように工夫されている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもにとって見やすい色使いになるよう配慮されている。 ・写真やイラストが引き立つレイアウトによって、児童の興味・関心や思考が深まるように工夫されている。 ・表紙には、学年の学習内容に応じた子どもの活動の様子が描かれている。 ・巻末に内容項目別教材一覧が掲示され、他教科との関連や現代的な課題との関りがまとめられている。
総合的な評価	【適している】

令和6年度以降使用小学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	道徳
発行者名(番号)・教科書名	学研教育みらい(224) 新版 みんなの道徳
1 取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習や体験的な学習が可能な教材を取り上げ、道徳的価値について多面的・多角的に学ぶ上で適切かつ効果的な内容となっている。 ・肯定的、積極的なものの見方、感じ方で、これからの時代を他者とともによりよく生きるための道徳性を養うために必要とされる道徳的価値が重視されている。
2 内容の選択及び扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関心、意欲を持って取り組めるように、先人のみならず今活躍する人たちも取り上げ、さまざまな人物の生き方に触れながら、自己を見つめる学びが展開できる。 ・あえて主題名を提示しないなど、特定の見方や考え方、価値観を押し付けることなく、児童が主体的に学びを深めることができるよう、配慮されている。 ・「生命の尊重」や「人権」を重んじ、多様性を受け入れながら、他者と共によりよく生きる力を育むことが、全学年で重視されている。 ・いじめを多面的・多角的な視点から自分との関わりで考えを深めるために、様々な内容項目の教材が配置されている。 ・各学年に情報の扱い方や情報の扱う際の配慮など、情報モラルに関する考えを深め、デジタル・シチズンシップが身につくように配慮している。
3 内容の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容項目の教材は、児童の生活実態や発達段階を考慮し、内容の深まりや視野の広がりなど、学年ごとに工夫している。 ・学年ごとに児童の発達的特質に応じたテーマを設け、複数教材によるユニット学習とするなど、工夫している。
4 内容の構成及び配列	<ul style="list-style-type: none"> ・教材内容の深まり、視野の広がりなど、様々な点を考慮した配列となっている。 ・様々な分野で活躍する今を生きる人たちに関係する教材から、人生の足跡からたどる先人たちに関係する教材など、児童が興味・関心をもって学べる、心を引き込む教材が掲載されている。 ・各学年巻頭に「つながる私 広がる私」、巻末に「つなげよう 広げよう」を設け、児童が自身の成長を振り返り、心に残ったことや次学年の自分へのメッセージを書き込むページが設けられ、課題や目標を見つけることができるように工夫されている。
5 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で問題解決的な授業の流れを提案し、児童が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるよう工夫されている。 ・各学年で自己肯定感や心の弱さと向き合うこと等に触れ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等、深く考えることができる教材や特設ページが設定されている。 ・「心のパスポート」には、教材の内容をもとにした役割演技の方法が記載されており、体験的な学習活動がしやすいよう配慮されている。 ・自分の考えを記入する欄が設けられ、話し合いの時には自分の考えを整理してから他者の意見を聞くことができるよう配慮されている。 ・「わたしのこと」「あなたとわたし」「社会とわたし」「命や自然とわたし」の四つの「視点マーク」が色分けして示され、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ・児童が見通しをもって安心して学習できるように、巻頭に「道徳の時間が始まるよ」が設定されている。 ・児童の学びの幅を広げ、考えを深めるため、教材に関する写真・動画・音声やクイズ形式のデジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードが配置されている。
6 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵や写真、資料が効果的に使われており、人権や多様性にも配慮されている。
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に、学習の始まりにふさわしいダイナミックな写真と心を耕す言葉が掲載されており、学習意欲を高めるよう工夫がされている。
総合的な評価	【やや適している】

